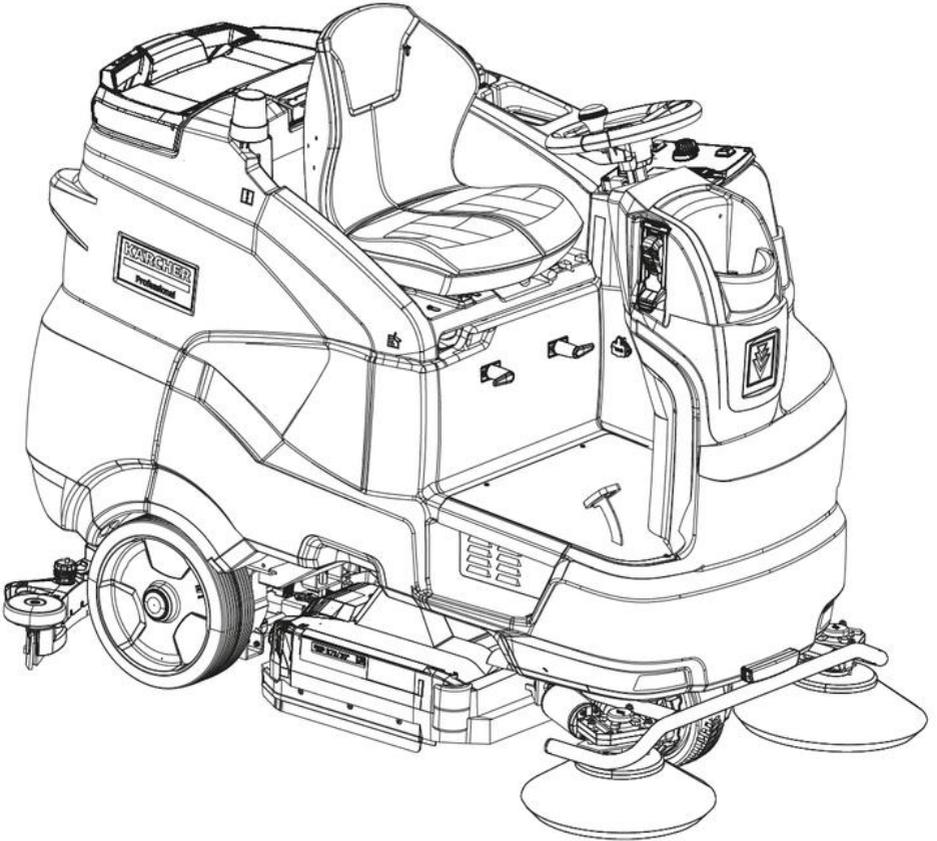


KÄRCHER

makes a difference



取扱説明書

3.137-215.0 B 150 R Bp +D90+DOSE+RINS

3.137-216.0 B 150 R Bp +R85+DOSE+RINS



一般的注意事項

デバイスを初めて使用する前に、安全上のご注意と操作手順を必ずお読みください。こちらの取り扱い説明書は保管して他の方も参照できるようにしてください。

機能

この床洗浄機はウェットクリーニングまたは平らな床の研磨作業に使用されます。

水量、洗剤の量、移動速度を調整することで、それぞれの洗浄作業に合わせて装置を調整できます。洗剤は、清水タンクに追加するか、オプションの投与装置（DOSE）を介して投与されます。

注意

デバイスには、それぞれのクリーニングタスクに合わせてさまざまなアクセサリを装備できます。カタログのコピーをリクエストするか、インターネットWebサイト（www.kaercher.com）にアクセスしてください。

使用目的

このデバイスは、ホテル、学校、病院、工場、ショップ、オフィス、レンタル会社などの商業および産業用途に適しています。この装置は、この取扱説明書の情報に従ってのみ使用してください。

- このデバイスは、湿気に敏感でなく、研磨に敏感でない滑らかな床を掃除するためにのみ使用できます。
- このデバイスは、屋内での使用を目的としています。
- 動作温度範囲は+5°Cから+40°Cの間です。
- このデバイスは、凍った床の掃除には適していません（例：冷凍冷蔵倉庫）。
- このマシンは最大水深1cmに適しています。最大水深を超える恐れのある場所には立ち入らないでください。
- 充電器またはバッテリーを使用する場合は、取扱説明書で許可されているコンポーネントのみを使用できます。別の組み合わせは、充電器および/またはバッテリーのサプライヤーが責任を持って確認する必要があります。
- このマシンは、公共交通ルートの清掃を目的としたものではありません。
- この装置は、感圧性の床では使用しないでください。床の許容表面荷重を考慮してください。デバイスの翼面荷重は、技術データで指定されています。
- このデバイスは、爆発の可能性のある環境での使用には適していません。
- デバイスは、最大勾配のある表面での操作が承認されています（「技術データ」の章を参照）。

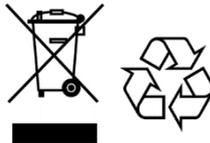
環境を保護する

梱包材はリサイクル可能です。梱包材は環境に配慮した方法で廃棄してください。

電気および電子機器には、貴重なリサイクル可能な材料が含まれており、多くの場合、バッテリー、アキュムレーター、オイルなどのコンポーネントが含まれています。ただし、これらのコンポーネントは、デバイスの適切な動作に必要です。この記号が付いているデバイスは、家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。

材料情報 (REACH)

成分に関する現在の情報は、www.kaercher.de/REACHで見つけることができます。



付属品とスペアパーツ

ケルヒャー純正のアクセサリとスペアパーツのみを使用してください。純正品以外の仕様は保証対象外となります。

納品物

開梱するときは、中身が完全かどうかを確認してください。付属品が不足している場合、または輸送中の損傷が発生した場合は、販売店にご連絡ください。

安全指示

デバイスを初めて使用する前に、これらの操作手順を読んで遵守し、それに応じて行動してください。

デバイスは、傾斜が制限された表面での操作が承認されています（「技術データ」の章を参照）。

警告

デバイスが転倒する可能性があります

怪我のリスク

許可された勾配を超えない表面でのみデバイスを操作してください（「技術データ」の章を参照）。

警告

誤操作による事故の危険性

人が怪我をする可能性があります。

オペレーターは、この機器の使用について適切な訓練を受けている必要があります。

デバイスは、フードとすべてのカバーが閉じている場合にのみ操作できます。

安全装置

注意

安全装置の紛失または変更

安全装置はあなたを保護するためのものです。

安全装置を改造したりバイパスしたりしないでください。

安全スイッチ

すべての機能を即座にシャットダウンするには：安全スイッチを「0」の位置に設定します。

安全スイッチがオフになっているとき、デバイスは激しくブレーキをかけます。

安全スイッチは、すべてのデバイス機能に直接作用します

シートスイッチ

作業中または運転中にオペレーターがシートを離れると、シートスイッチは少し遅れてトラクションモーターをオフにします。

デバイス上のアイコン



注意・危険性

廃水タンクを振り下ろすと、手を挟むことがあります。

回収タンクを振り下ろすときは、タンクと装置の間に身体のいかなる部分も置かないでください。

保護ルーフ（オプション）付きのマシンに付いての説明



危険 事故の危険性

保護ルーフは重く、スイング時に回収タンクを後方に引っ張ります。

デバイスが転倒して人を傷つける可能性があります。

回復タンクをゆっくりと振り、しっかりと保持して速度を制御します。



警告

押しつぶす危険
汚れた水タンクを前方に回転させると、大きな力が働きます。前方に旋回するときは、汚れた水タンクと装置の間に体の部分がないことを確認してください。



警告記号

バッテリーを取り扱うときは、次の警告に従ってください。

	バッテリーの使用方法とバッテリーの説明、およびこれらの操作手順の説明に従ってください。
	目の保護具を着用してください。
	子供を酸や電池から遠ざけてください。
	爆発の危険性
	火事、火花、裸火、喫煙は禁止されています。
	化学火傷のリスク
	応急処置。
	警告通知
	廃棄
	バッテリーをゴミ箱に捨てないでください。

安全上のご注意

危険

- この注記は機器の誤った取り扱いにより、使用者が死亡または重傷を負う可能性が高い危険事項が記載されています。

警告

- この注記は機器の誤った取り扱いにより、使用者が死亡または重傷を負う可能性がある警告事項が記載されています。

注意

- この注記は機器の誤った取り扱いにより、使用者が傷害を負う可能性がある注意事項が記載されています。

注意事項

- この注記は機器の誤った取り扱いにより、物的損害につながる可能性があります。

保護具

注意

- デバイスを操作するときは、適切な手袋を着用してください。

一般的な安全上の注意

危険

- 窒息の危険があります。フィルムの包装は子供の手の届かないところに保管してください。

警告

- 機器は適切に使用するためにのみ使用してください。機器を操作するときは、周囲の状況を把握し、第三者、特に子供に注意してください。
- この装置は、身体的、感覚的、精神的な能力に制限がある人、または経験や知識が不足している人による使用を前提としていません。
- 機器の使用方法を指示された、または操作能力を証明し、明示的に使用を指示された人のみが機器を使用する必要があります。
- 子供が本機器を玩具として遊ばないように触らせないでください。

注意事項

- 安全装置はあなた自身の保護のために提供されています。安全装置を改造したり無効にしないでください。

感電の危険性

危険

- 機器の電圧は、電源の電圧と一致している必要があります。
- 濡れた手で電源ソケットや電源プラグには絶対に触れないでください。
- 保護クラスI 機器は正しくアースされた電源に接続してください。

安全上のご注意

警告

- 漏電時はすぐに機器のスイッチをオフにします。
 - 機器から泡が発生したり、液体が漏れたりした場合は、すぐに機器のスイッチをオフにして、充電式バッテリーパックを取り外してください。
 - 電源ケーブルと電源ケーブルの電源プラグが付いている場合は、毎回動作前に破損がないか確認してください。電源ケーブルが破損した場合は、機器を使用しないでください。破損した電源ケーブルを、認可カスタマーサービスまたは認定電気技師に依頼して交換してください。
 - 電源ケーブルや延長ケーブルをの上を走ったり、押しつぶしたり、引っ張ったりして、損傷を与えないでください。電源ケーブルを熱、オイル、鋭利なものから保護してください。
- ケーブル交換時を含め、メーカーが規定するメイン接続ケーブルのみを使用してください。種類と注文番号については、取扱説明書を参照してください。
- 電源または延長ケーブルのカップリングの交換は、同じスブラッシュガードと強度を持つカップリングと交換してください。

注意事項

- スイッチをオンにすると、一時的に電圧降下が発生します。
- 電源の状態が悪いと、他の機器が故障する可能性があります。

安全上のご注意

操作

危険

- 危険区域（サービスステーションなど）で機器を使用する場合は、その区域の安全規則を順守してください。
- 爆発の危険性がある場所での操作は禁止されています。
- 液体、可燃性ガス、爆発性粉塵、および希釈されていない酸や溶剤をスプレーしたり、掃除機をかけたりしないでください。これらには、ガソリン、シンナー、または灯油が含まれます。これらは、吸引空気の乱流によって爆発性の蒸気または混合物を形成する可能性があります。また、アセトン、未希釈の酸および溶剤は、機器を浸食します。
- 燃烧またはくすぶっている物体/物質を吸引しないでください。

警告

- 人や動物の清掃に使用しないでください。
- 傾斜面では、取扱説明書に記載されている進行方向と傾斜角を超えないようにしてください。
- 回転部分に引っ掛かって飛び散る可能性のある物体が作業領域にないことを確認してください。
- 回転部分に引っ掛からないように、ぴったりした服を着用してください。（ネクタイや、長いスカートや幅の広いスカートは避けてください）

注意

- 操作の前に、機器とアクセサリ、特に主電源接続と延長ケーブルを毎回チェックして、安全で正しく機能していることを確認してください。損傷があった場合は電源プラグを抜いて、機器を使用しないでください。
- 機器の動作中は、機器を放置しないでください。機器から離れる場合は、機器を停止し、意図せず動かないように機器を固定し、必要に応じてパーキングブレーキをかけ、イグニッションキーを取り外してください。
- 漏れが発生した場合は、すぐに機器のスイッチをオフにしてください
- 機器の使用中は絶対にカバーを開けないでください。
- この機器は、健康に有害なほこりを吸うのには適していません。

安全上のご注意

注意事項

- 0°C 未満の温度で機器を操作しないでください。
- 取扱説明書で指定されているアクセサリとアタッチメントを接続する場合にのみ、機器のソケットを使用してください。
- 機器は掃除機ではありません。吐水した量より多くの液体を吸引しないでください。乾燥した汚れを吸引するために機器を使用しないでください。
- この機器は、取扱説明書に記載されている床面での使用にのみ適しています。
- この機器は、水位1cm までの湿ったフロアに適しています。水位が1cm を超える場所では使用しないでください。
- 汚水と塩水を処分するときは、法規制を遵守してください。
- イグニッションキーが装備されている機器からイグニッションキーを取り外して、不正使用を防止します。
- 低温の屋外で機器を使用しないでください。

注意

- 洗剤は子供の手の届かないところに保管してください。
- 推奨される洗剤を希釈せずに使用しないでください。
- これらの製品は、酸、アルカリ、または環境に有害な物質を含まないため、安全に使用できます。洗剤が目に入った場合は、すぐに水で十分に洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。洗剤を飲み込んだ場合も同様です。
- ケルヒャーが推奨する洗剤のみを使用し、洗剤メーカーが指定した使用方法、廃棄方法、および加温の指示に従ってください。

安全上のご注意

回転ブラシ/ディスク

危険

- ・ 感電の危険があります。主電源接続または延長ケーブルをクリーニングヘッドの回転ブラシ/ディスクと交差させないでください。

注意

- ・ 不適切なブラシ/ディスクの使用はたいへん危険です。機器に付属のブラシ/ディスクまたは取扱説明書で推奨されているもののみを使用してください。

バッテリー

危険

- ・ 爆発するおそれがあります。裸火をバッテリーやバッテリーを充電する部屋に近づけないでください。また、バッテリーを充電する部屋やバッテリーの近くで火花や煙が発生しないようにしてください。
- ・ 爆発および短絡のおそれがあります。バッテリーに工具などを置かないでください。
- ・ 適切な消火剤は、二酸化炭素、水、泡、および粉末です。

注意

- ・ バッテリーの酸により怪我をするおそれがあります。それぞれの安全規則を順守してください。
- ・ バッテリーとバッテリー液を取り扱うときは、保護手袋、保護服、ゴーグル、マスクを着用してください。
- ・ バッテリー液で汚れた、または濡れた衣服はすべてすぐに脱いでください。バッテリー液と接触した皮膚の部分は水で洗うか、シャワーを浴びてください。
- ・ 目に入った場合：水で15分以上軽くすすいでください。必要に応じて、コンタクトレンズを取り外し、すすぎを続けます。
- ・ バッテリー液のガスを吸入してしまった場合：きれいな空気で呼吸してください。
- ・ バッテリー液を飲み込んでしまった場合：すぐに大量の水を飲んでください。活性炭を摂取します。嘔吐を誘発しないでください。
- ・ すぐに医療センターまたは医師に連絡してください
- ・ バッテリー液が地面や下水道に到達しないようにしてください。
- ・ こぼれたバッテリー液は、結合剤（砂など）で広がるのを防ぎます。
- ・ バッテリー液を石灰またはソーダで中和し、各自治体の規定に従って処分してください。

注意事項

- ・ バッテリーと充電器メーカーの取扱説明書に従ってください。バッテリーの取り扱いに関する安全注意事項を順守してください。
- ・ バッテリーを放電状態のままにせず、できるだけ早くバッテリーを充電してください。
- ・ 漏れ電流を避けるために、バッテリーは清潔で乾燥した状態に保ってください。バッテリーを汚染や金属粉から保護します。
- ・ 使用済みバッテリーは、各自治体の規定に従って廃棄してください。

安全上のご注意

空気入りタイヤの場合

注意

- 修理とスペアパーツの取り付けは認可されたサービスのみが行ってください。
- 機器を操作するときは、常に適切な手袋を着用してください。
- タイヤの空気圧を設定する前に、すべてのホイールリムボルトがしっかりと締められていることを確認してください。
- タイヤの空気圧を設定する前に、コンプレッサーに減圧弁が正しく設定されていることを確認してください。
- タイヤの最大空気圧を超えないようにしてください。タイヤの空気圧は、タイヤと、必要に応じてホイールリムで読み取る必要があります。これらの値が異なる場合は、小さい方の値を使用してください。

搭乗式の機器の場合

危険

- 機器は公道での使用は許可されていません。公道で使用可能にする変換キットについては、販売店にお問い合わせください。
- 運転者以外の人間を運ぶことは禁止されています。
- シートに座って使用してください。
- 落下物によって使用者が立ち往生する可能性のある場所では、落下物から保護するためのオーバーヘッドガードなしで機器を使用しないでください。

ケアとサービス

警告

- クリーニング、サービス、部品の交換、および別の機能への切り替えの前に、機器のスイッチをオフにして、イグニッションキーを取り外す必要があります。主電源で動作する機器の主電源プラグを外します。バッテリー駆動の機器では、バッテリープラグを抜くか、バッテリーを取り外します。

注意

- 修理作業、スペアパーツの取り付け、および電気部品の作業は、認可カスタマーサービスのみが行ってください。
- 修理は、関連するすべての安全指示に精通している、この分野で資格のある承認されたカスタマーサービスまたはスタッフのみが実行できます。
- 水の流れる弁の部分は定期的に清掃し、損傷の兆候がないか確認します。

注意事項

- 産業用機器の安全検査に注意し、各地域の規制に従ってください。
- 短絡や故障の恐れがありますので、ホースや高圧ウォータージェットで機器を清掃しないでください。

アクセサリとスペアパーツ

注意

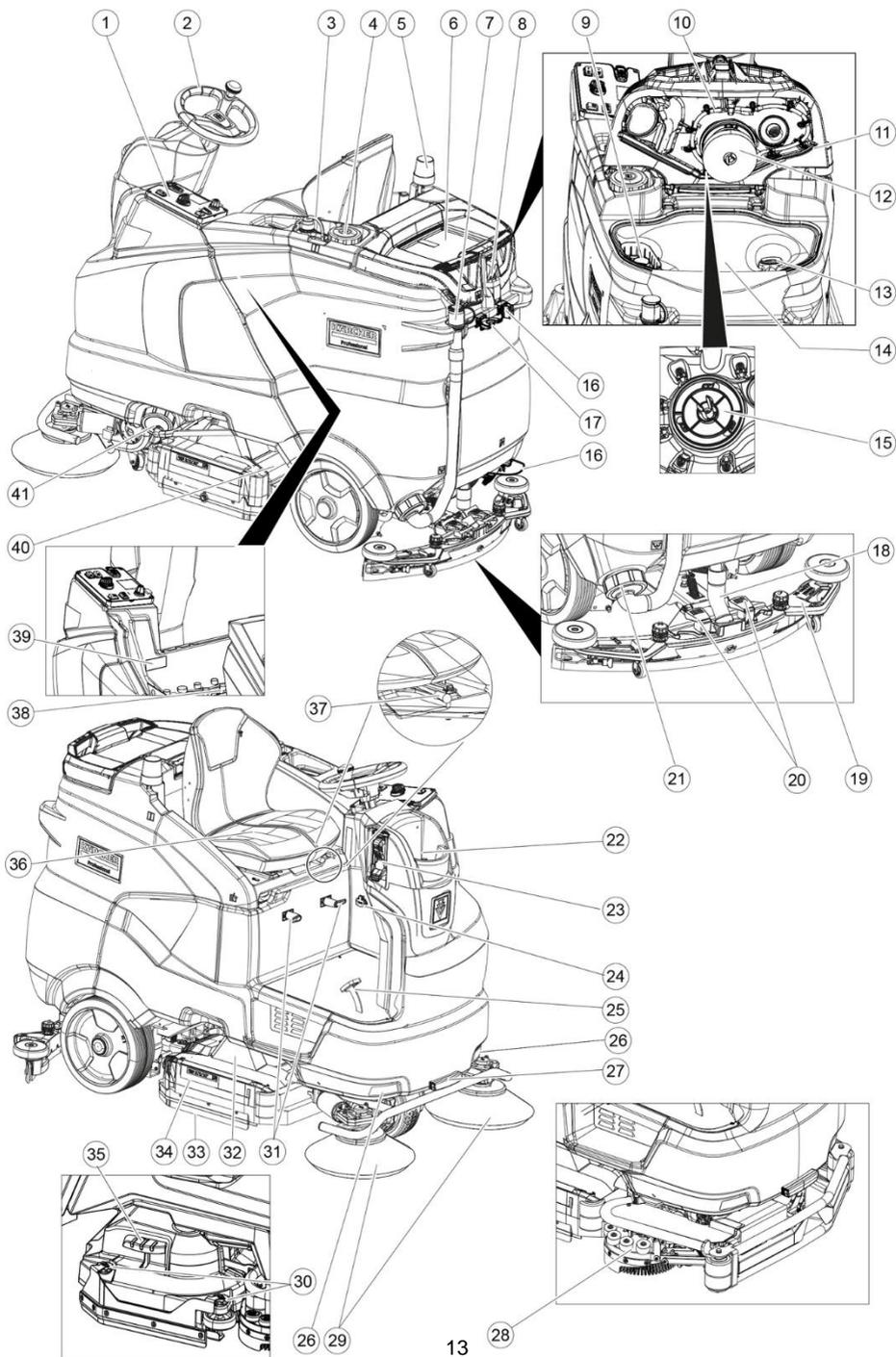
- ケルヒャーが認定したアクセサリとスペアパーツのみを使用してください。純正アクセサリと純正スペアパーツのみが、機器が故障なく安全に動作することを保証します。

機器の運搬

注意

- 輸送前にモーターを停止してください。重量を考慮して、機器を固定します。「テクニカルデータ」を参照してください。

機器の説明 各部の概要



機器の説明 各部の概要

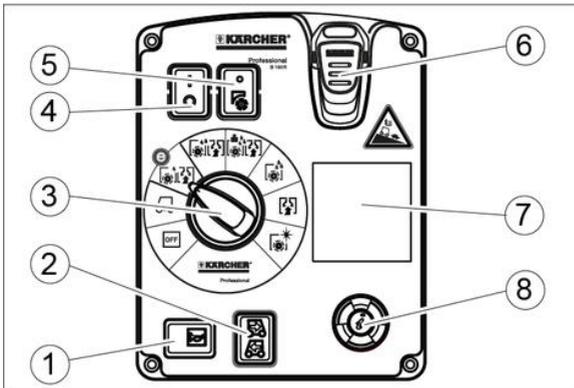
1. コントロールパネル
2. ハンドル
3. DOSEホース
4. 洗剤タンク
5. * 警告灯（オプション装着時）
6. 掃除セット「ホームベースボックス」の収納スペース
7. 汚水の排水ホース
8. *回収タンクフラッシングシステムの水接続
9. 粗ゴミ受け皿
10. 汚水タンク自動洗浄システム
11. 汚水タンクカバー
12. フロート（汚水検知の浮き）
13. タービン保護フィルター
14. 汚水（回収）タンク
15. タービン保護スクリーン（フロートの裏）
16. *モップホルダー
17. * ツールホルダー
18. サクションホース
19. スクイジー
20. スクイジーのクランプレバー
21. 汚水タンク開口部蓋
22. 清水タンクフィルター開口部
23. ワンタッチ給水口
24. バッテリーコネクタ（外部充電器用）充電器電源コード（内部充電器用）
25. アクセルペダル
26. デイタイムランニングライト
27. *ワーキングライト
28. *サイドスクラブデッキ
29. サイドブラシ（バリエーションSBのみ）
30. サイドリップ調整ダイヤル（Dクリーニングヘッドのみ）
31. ケーブルフック
32. ブラシヘッド
33. サイドリップ
34. ベアリングカバー（ブラシ交換用）
35. ペダルブラシ交換（Dクリーニングヘッドのみ）
36. シート（シートスイッチ付き）
37. シート調整レバー
38. バッテリー
39. 銘板
40. 粗ゴミ容器（Rクリーニングヘッドのみ、プレスイープ機能）
41. 清水排水口

*オプション

ボディカラーの色分けについて

- ・ クリーニングプロセスのコントロールは黄色です。
- ・ メンテナンスとサービスのコントロールは薄い灰色です。

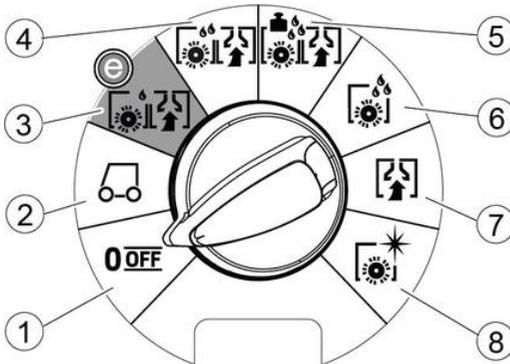
コントロールパネル



- ① ホーン
- ② 方向スイッチ
- ③ プログラムスイッチ
- ④ 安全スイッチ
- ⑤ *サイドスクラブブラシ
スイッチ
- ⑥ インテリジェントキー
- ⑦ 画面
- ⑧ 情報ボタン

* オプション搭載の場合

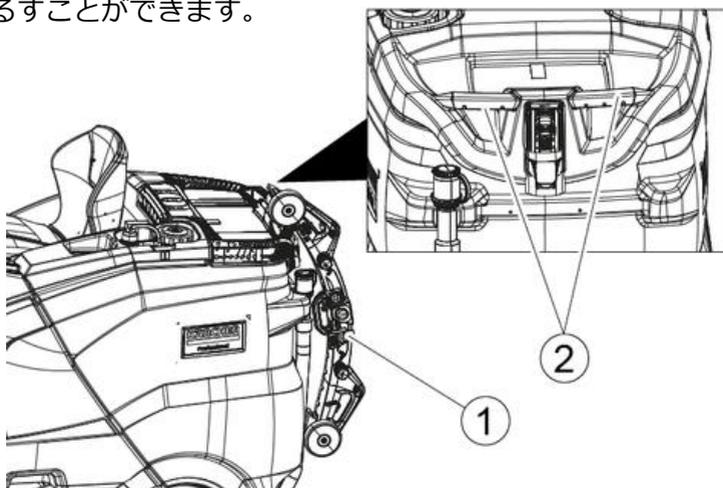
プログラムスイッチ



1. OFF : 電源がオフになります。
2. ドライブ : 移動モードです。
3. エコプログラムウェットフロアクリーニング : 水の量を減らし、ブラシの速度を下げ、洗浄します。吸引力を弱めて汚水を吸い取ります。
4. 床洗浄機は床を濡らして洗浄し、汚水を回収します。
5. ブラシ接地圧を上げた状態で床を濡らして洗浄し、汚水を吸い取ります。
6. こすり洗いのみ、床を濡らしてきれいにします。汚水の回収はしません。
7. 汚水を吸い取ります。
8. 研磨モード : 速いブラシ速度で液体を塗布せずに床を研磨します。

スクイジーホルダー

狭いスペースを運転するときは、スクイジーを取り外して、汚水タンクのカバーに吊るすことができます。



- ① スクイジー
- ② 引っ掛ける場所

マシン上のアイコン



汚れた水タンクを回転させるためのハンドル



ラッシングポイント



*モップホルダー



*水接続充填システム



*水接続回復タンクフラッシングシステム



淡水タンク排水口

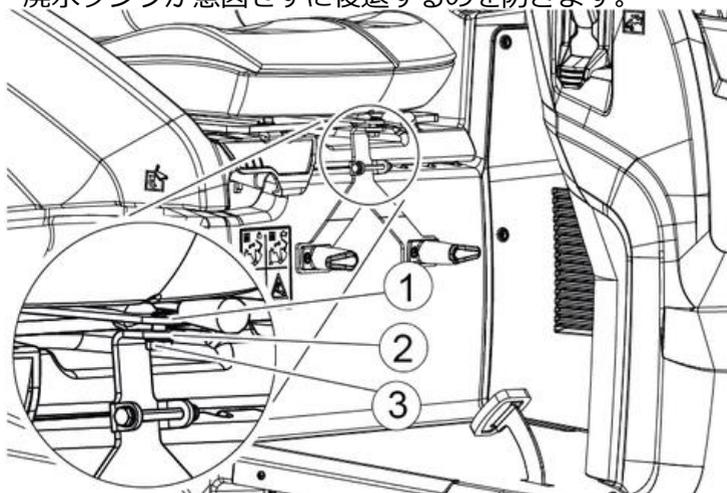


廃水タンク排水口

*オプション

オーバーヘッドガード（オプション）装着時

オーバーヘッドガードは、デバイスのドライバーを落下物から保護します。オーバーヘッドガード付きの装置では、汚水タンクに安全ロックが装備されています。この安全ロックは、オーバーヘッドガードに作用する力によって廃水タンクが意図せずに後退するのを防ぎます。



- 1.ヘッドガード
- 2.固定板
- 3.固定ネジM8x16、ワッシャー

廃水タンクを後方に回転させる

- 1.廃水タンクを空にします。
- 2.固定ネジを緩めます。
- 3.廃水タンクをしっかりと持ち、ゆっくりと後方に回転させます。

廃水タンクを前方に回転させる

警告

はさまれてつぶれる危険性があります

身体の一部が装置と廃水タンクの間にはさまれる可能性があります。前方に旋回するときは、装置と廃水タンクの間には身体の一部がないことを確認してください。

- 1.廃水タンクをしっかりと持ち、ゆっくりと前方に回転させます。
- 2.ネジを締めて、固定ネジを締めます。

バッテリー

注意

マシンには深放電保護があります。つまり、最小許容容量に達した場合、マシンは駆動することしかできません。ディスプレイに「Charge Battery」と表示されます。

危険

- 充電器の不適切な使用はしないでください。
- バッテリーは充電時に可燃性ガスが発生します。
- 電気ショックの危険性があります。
- 爆発の危険性があります。
- マシンのタイププレートの主電源電圧とヒューズ保護を確認してください。
- 十分な換気のある乾燥した屋内でのみ充電器を使用してください。
- 適切な部屋でのみバッテリーを充電してください。部屋には、バッテリーの種類に応じた最小の容量と、最小の空気の流れを備えた空気交換が必要です

注意

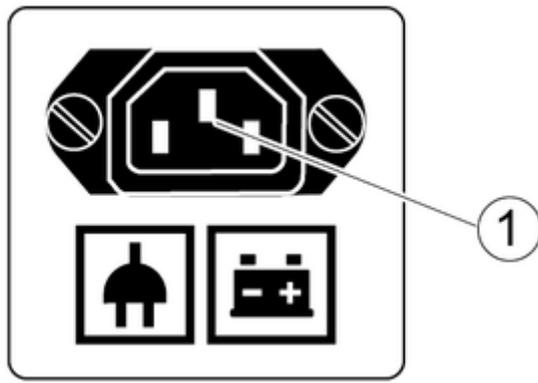
- 充電中は、タンクの下に危険なガスが蓄積されます。

爆発の危険性

- 低メンテナンスバッテリーを充電する前に、汚水タンクを上向きにします。（元の位置に戻す）

注意事項

- 平均的な充電時間は、約10～12時間です。
- 推奨される充電器（各電池用）は、電子制御されており、充電プロセスを自動的に停止します。
- 充電中は本機を使用することができません。
- デバイスを直接充電器まで運転し、坂道は運転しないでください。



①充電ケーブル用のIECコネクタ

1. メインケーブルをマシンのプラグに接続します。
2. 内蔵充電器を電源コンセントに差し込みます。バッテリーの記号とバッテリーの充電状態がディスプレイに表示されます。ディスプレイの照明が消えます。

注意充電中は、すべての清掃および運転機能がブロックされます。バッテリーが完全に充電されると、ディスプレイに「バッテリーがいっぱいです！」と表示されます。

3. 充電を停止するには、充電器をコンセントから抜きます。
4. 電源コードをコードフックに巻き付けます。

外部充電器

危険

不適切な充電器の使用

損傷のリスク

- 充電器をデバイスのバッテリーコネクタに接続しないでください。
- 内蔵バッテリーの種類に合った充電器のみを使用してください。
- 充電器の製造元の取扱説明書を読み、安全上の注意に特に注意してください。

注意

保護ルーフを備えたデバイスの場合、「保護ルーフ」の章の情報を遵守することが不可欠です。

1. 汚水タンクを空にします。
2. 安全スイッチを「0」の位置に設定します。
3. 汚水タンクを後方に回転させます。
4. デバイス側のバッテリーコネクタを外します。
5. バッテリー側のバッテリーコネクタを充電器に接続します。
6. 充電器の電源コードを電源コンセントに差し込みます。
7. 充電器の取扱説明書の情報に従って充電プロセスを実行します。
8. デバイス側のバッテリーコネクタをバッテリー側のバッテリーコネクタに接続します。
9. 汚水タンクを前方に回転させます。

ウェットバッテリー

危険

バッテリーが放電したときに水を補充する

酸の漏れ、衣服の破壊による化学火傷のリスク

- バッテリーの酸を取り扱うときは、安全ゴーグル、保護服、保護手袋を使用してください。
- 規制を遵守してください。
- 皮膚や衣服に付着した酸の飛沫は、すぐに大量の水ですすいでください。

危険

添加剤を含む水の使用

バッテリーの不良、保証の喪失となる行為

- バッテリーの補充には、蒸留水のみを使用してください。
- 保証が無効になるため、サードパーティの添加剤、いわゆる改良剤は使用しないでください。

1. 充電終了の1時間前に蒸留水を追加します。バッテリーのラベルに従って、正しい酸レベルを確認してください。充電プロセスの最後に、すべてのセルにガスを供給する必要があります。
2. こぼれた水をきれいにします。これを行うには、「お手入れとメンテナンス」の章の「バッテリーのクリーニング」セクションの説明に従ってください。

初期充電に関する注意事項

注意事項

- 初期充電の際、コントローラーは装着されている電池の種類をまだ認識していません。そのため、バッテリーインジケータはまだ不正確な動作をします。
- バッテリー表示のバーの右側に「V」が表示されている場合は、まだ初期充電が行われていないことを示します。
- ディスプレイが最大充電状態になるまで、バッテリーを充電してください。
- 初期充電後、深放電保護機能によりブラシ駆動と吸引がオフになるまで本機を使用します。
- その後、バッテリーを完全かつ正しく充電してください。
- 初期充電を行うと、バッテリーインジケータの右側の「V」が消えます。

注記

バッテリーメニューでバッテリーの種類を選択した場合、上記の手順を再度実行する必要があります。すでに設定されている電池の種類を選択し直した場合も同様です。

バッテリーインジケータ

バッテリーの充電状態は、コントロールパネルのディスプレイに表示されます。

- バーの長さは、バッテリーの充電状態を示します。
- 過去30分間の残りの稼働時間は、分単位で表示されます。

バッテリーの取り外しをする場合

注意

バッテリーの取り外しと取り付け
マシンが不安定な状態は避けること

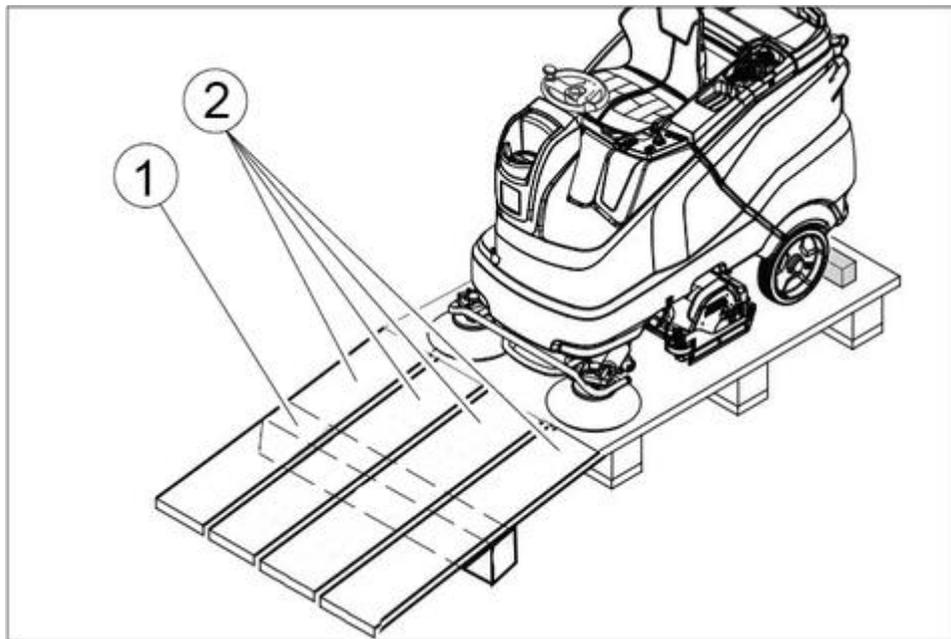
- バッテリーの取り外しと取り付けを行うときは、機械がしっかりと立っていることを確認してください。

注意

保護ルーフを備えたデバイスの場合、「保護ルーフ」の章の情報を遵守することが不可欠です。

1. 安全スイッチを「0」の位置に設定します。
2. 汚水を排水します。
3. 汚水タンクを後方に傾けます。
4. バッテリープラグを引き抜きます。
5. バッテリーのマイナス端子からケーブルを外します。
6. バッテリーから残りのケーブルを外します。
7. 電池を取り出します。
8. 使用済みバッテリーは、法律、条令に従って処分してください。

開梱

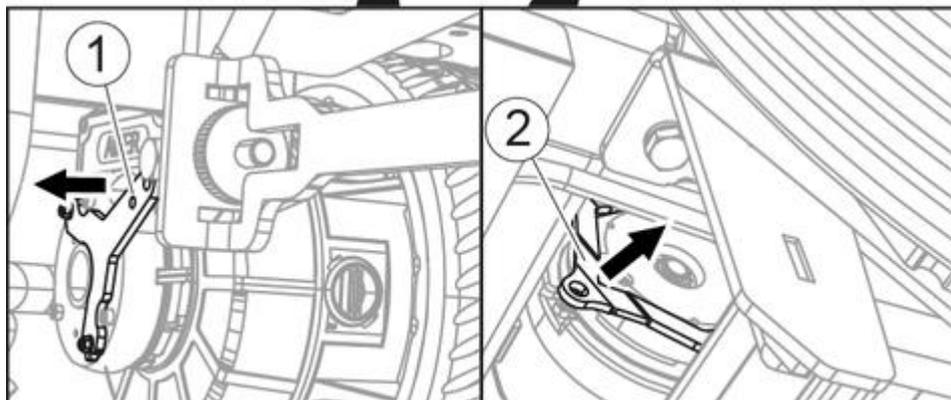
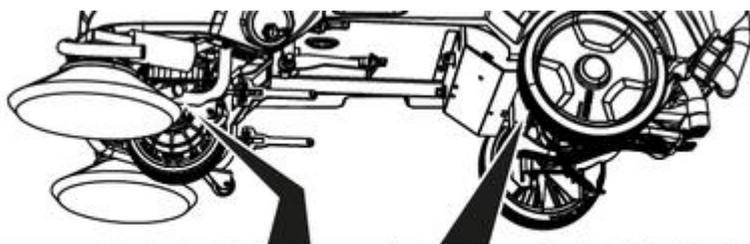


①ボード

②バー

1. 包装フィルムをはがします。
2. ストラップを外します。
3. パレットの底板4枚をネジで固定します。これらのボードのネジを外します。
4. これらのボードをパレットの端に置き、ユニットのホイールの前に配置します。
5. ボードをネジで固定します。
6. パッケージに含まれているビームをランプの下に押し支えます。
7. ホイールの前にある木製のストリップを取り外します。

マシンをパレットから降ろす方法



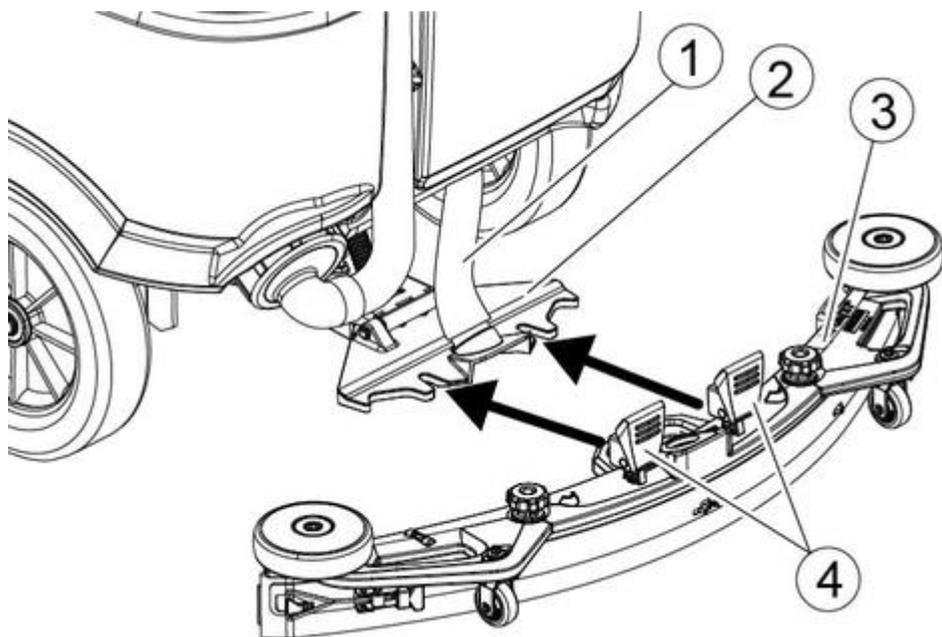
- ① フロントブレーキレバー（B 150低ホイール圧を除くすべてのデバイスバリエーション）
- ② リアブレーキレバー（デバイスバリエーションAdvおよびB 150低ホイール圧のみ）

1. 「低タイヤ接地圧」のオプション採用車を除くすべてのデバイスで、前輪のブレーキのレバーを引き、レバーとブレーキの間にコインを挿入します。
2. 「Adv」および「低タイヤ接地圧」デバイスのバリエーションについては、リアアクスルでこのプロセスを繰り返します。
3. デバイスをゆっくりとランプから押し出します。

危険

- 事故の危険性
 - ブレーキが無効になっている場合、デバイスにはブレーキ効果がありません。
 - デバイスがパレットから押し出された直後にコインを取り出します。
4. レバーとケースの間のコインを取り除きます。

スクイジーを取り付ける



- ① サクションホース
- ② スキーサスペンション
- ③ スキー
- ④ クランプレバー

1. 両方のクランプレバーを上向きに回します。
2. スキーをスキーハンガーに挿入します。
3. 両方のクランプレバーを下に振ります。

操作方法

危険

落下物

怪我のリスクがあります

→落下物にぶつかる可能性のある場所では、落下物防止（天蓋）のないマシンを使用しないでください。

危険

動作中の危険な状況について

怪我のリスクがあります。

→危険が発生した場合は、安全スイッチを「0」の位置に設定してください。

運転席を調整する

1.シート調整レバーを操作し、シートを希望の位置に動かします。

2.シート調整レバーを放し、シートをかみ合わせます。

デバイスの電源を入れます

1. 運転席に座ります。
2. KIKキーを挿入します。
3. 安全スイッチを「1」の位置に設定します。
4. プログラムスイッチを目的の機能に切り替えます。
5. 以下のいずれかのディスプレイが表示された場合は、アクセルペダルから足を離し、安全スイッチを「0」に設定して、必要なメンテナンス作業を行ってください。

画面の表示内容	対応内容
Maintenance Suction Bar	スクイジを掃除します。
Maintenance Brush Head	ブラシの摩耗をチェックし清掃します。
Maintenance Suction Slice	スクイジブレードの摩耗と調整を確認してください。
Maintenance Suction Filter	タービン保護スクリーンを清掃します。
Maintenance Water Filter	清水フィルターを清掃します。

1. 情報ボタンを押します。
2. 対応するメンテナンスカウンターをリセットします（「灰色のKIKキー/メンテナンスカウンターのリセット」を参照）。

注意

カウンタがリセットされていない場合、デバイスの電源を入れるたびにメンテナンス画面が再び表示されます。

操作方法

デイトムランニングライト

デバイスの電源がオンになると、デイトムランニングライトが作動します。

作業用の追加ライト（オプション）

1. 移動を輸送するようにプログラムスイッチを設定します。
2. 情報ボタンを押します。
3. 「スイッチメニュー」が表示されるまで情報ボタンを回します。
4. 情報ボタンを押します。
5. 「作業用ライト」が強調表示されるまで情報ボタンを回します。
6. 情報ボタンを押します。

パーキングブレーキの確認

危険

パーキングブレーキの不良について
事故の危険性がありますので、各操作の前に、平地でのパーキングブレーキの機能を確認してください。

1. デバイスの電源を入れます。
2. 進行方向スイッチを「進む」に設定します。
3. プログラムスイッチを移動モードに設定します。
4. アクセルペダルを軽く踏みます。
5. ブレーキが解除された状態は音で聞こえます。解除された状態でマシンは、平面上で簡単に押して動く（転がる）できる状態になります。
6. アクセルペダルを放します。
7. ペダルを外すと、ブレーキが利き、ロックされた状態になります。

そうでない場合は、マシンを停止してカスタマーサービスに連絡してください。

操作方法

マシンの運転方法について

危険

ブレーキが利かなくなった時
事故の危険性があります。

この装置を使用する前に、必ずパーキングブレーキの機能を確認してください。パーキングブレーキが作動しない場合は、絶対に使用しないでください。

危険

運転中にブレーキが効かなくなる可能性について

運転中にブレーキが効かなくなった場合は、次のように対処してください。
勾配が2%以上のスロープでアクセルペダルを放しても、マシンが停止しない場合は、安全上の理由から、マシンを起動する前にパーキングブレーキの機械的な機能が正しいことを確認できている時のみ、セーフティスイッチを「0」の位置にしてください。

停止状態になった後、装置を停止させ、カスタマーサービスに連絡してください。

ブレーキに関するメンテナンスの指示を守ってください。

危険

不注意な運転について

オーバーヘッドガード付きマシン（オプション）の場合、転倒の危険性が高くなります。

転倒の危険性

オーバーヘッドガードが障害物に衝突すると、転倒の危険性があります。

- ・ 傾斜部は走行方向は上り下りののみ、横切る方向は店頭の子脳性があるので不可です。最大勾配は10%（全輪駆動モデル（オプション）は15%）です。
- ・ 勾配部にて旋回しないでください。
- ・ コーナーや濡れた路面では、ゆっくりと走行してください。
- ・ 不安定な路面では操作、運転しないでください。
- ・ オーバーヘッドガードの付いた装置を使用する場合は、より慎重に運転してください。
- ・ 運転場所の最大の制限高さに注意してください。装置の高さは、「技術データ」の章に記載されています。

操作方法

マシンの運転方法について

警告

けがの危険性があります。

装置に乗り込む際、頭がオーバーヘッドガードに当たらないよう、慎重に乗り込むようにしてください。

注意

運転中に進行方向を変更することができます。このため、数回往復することで、汚れの酷い箇所を研磨することができます。

1. 座った姿勢になります。
2. KIKキーを差し込みます。
3. 安全スイッチを「1」にします。
4. プログラムスイッチを「移動モード」に設定します。
5. 操作パネルの駆動方向ボタンで進行方向を設定します。
6. アクセルペダルを踏んで、走行速度を設定する。
7. アクセルペダルを離します。
装置が停止します。
過負荷の場合、駆動モーターは停止します。ディスプレイに故障のメッセージが表示されます。コントローラが過熱した場合、該当するパワーユニットの電源がオフになります。
8. 最低 15 分間、装置を冷却してください。
9. プログラムスイッチを「OFF」に設定し、しばらく待ってから希望のプログラムに設定します。

清水の補給について

ワンタッチ給水（満水検知システム）を使った清水の充填

1. 給水ホースをワンタッチ給水口に接続します（最高水温50℃）
2. 水道を開ける。
3. マシンを確認します。清水タンクが満水になると自動充填システムが水の供給を停止します。
4. 水道を閉じます。
5. ホースを取り外してください。

給水口からの補充

1. 清水タンクのキャップを開ける。
2. タンクの上端から15mm下まで、水道水（50℃以下）を入れる。

注意点

初回起動時には、水道管システムの換気のため、清水タンクを完全に満タンにしてください。

3. 清水タンクのキャップを元に戻す。

洗剤の充填について

洗剤に関する注意事項

警告

不適切な洗剤

健康被害、機器の損傷の恐れがあります。

- 当社製の推奨された洗剤のみを使用してください。他の洗剤を使用すると、操作の安全性や事故の危険性が高まります。
- 塩素、溶剤、塩、フッ酸を含まない洗剤のみを使用してください。
- 洗剤のパッケージに記載されている安全に関する指示を守ってください。

注意事項

泡立ちの良い洗剤は使用しないこと。

用途	洗剤
工業用床のメンテナンス清掃、中間清掃、基本清掃	RM 69
セラミックタイルなどのメンテナンス洗浄、基本洗浄	RM 753
リノリウム床の塗膜除去	RM 754

洗剤の充填について

DOSE機能を使った充填方法

洗剤は、吐出装置によって洗浄ヘッドに向かう途中の清水に加えられます。

1. 洗剤容器に洗剤を注入します。

注意

DOSE機能で添加できる洗剤は最大3%の濃度です。それ以上の量の洗剤を入れる場合は、直接清水タンクに追加する必要があります。

注意

目詰まりの危険性を生みます。
→清水タンクに洗剤を入れると、洗剤が乾燥して定量供給装置の機能が損なわれることがあります。

- 清水タンクに洗剤を入れた後、装置をきれいな水ですすいでください。水を使用する洗浄プログラムを選択し、水量を最高値に設定し、洗剤量を0に設定します。

注記

マシンのディスプレイには、清水レベルインジケータが表示されます。清水タンクが空になると、洗剤の投入も停止します。洗浄ブラシヘッドは液体が供給されなくても動作し続けます。

清水タンクに洗剤を入れる場合

1. 清水タンクに洗剤を入れます。

注) 清水タンクの注入口のふたは、洗剤の計量に使用できます。内側に計量目盛りがついています。

パラメーターの調整（黄色のKIKキー）

さまざまな洗浄プログラムのパラメータは、装置にあらかじめ設定されています。

個々のパラメータは、黄色のKIKキーの認証によって変更することができます。

変更したパラメータは、プログラムスイッチで別のクリーニングプログラムを選択するまで有効です。

パラメータを恒久的に変更する場合は、グレーのKIKキーを使用して調整する必要があります。この設定方法については、「グレーのKIKキー」のセクションで説明します。

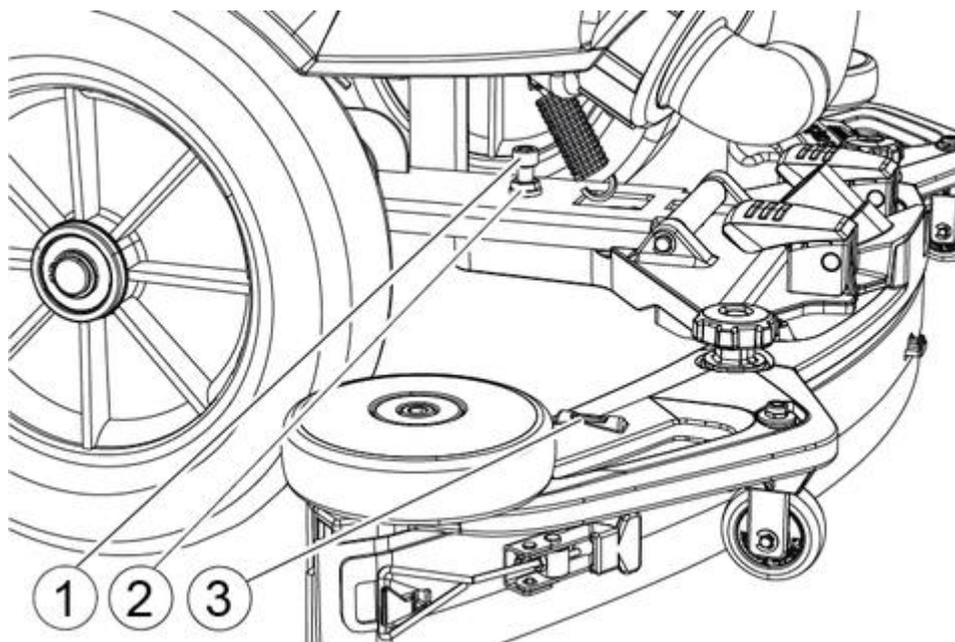
注意

パラメータ設定に関するほとんどの文章は、説明不要です。ただし、FACTパラメーターだけは例外です。

- Fine Clean (ファインクリーン)。ファインクリーン：ファインストーンに付着したグレーの膜を除去するための低いブラシスピード。
 - ウィスパー・クリーン。中速のブラシ速度で、ノイズレベルを抑えてメンテナンス洗浄を行います。
 - パワークリーン：研磨、結晶化、掃き掃除のための高いブラシ速度。
1. プログラムスイッチを希望のクリーニングプログラムに設定します。
 2. 希望するパラメータが表示されるまで、情報ボタンを回します。
 3. Infoボタンを押します。
調整された値が点滅します。
 4. Infoボタンを回して希望の値を設定します。
 5. 変更した設定をInfoボタンで確定するか、10秒後に設定値が自動的に受理されるまで待ちます。

スクイジーの調整

サクションバーの再調整は、特殊な場合のみ必要です。工場出荷時の設定は、ほとんどの用途に適しています。

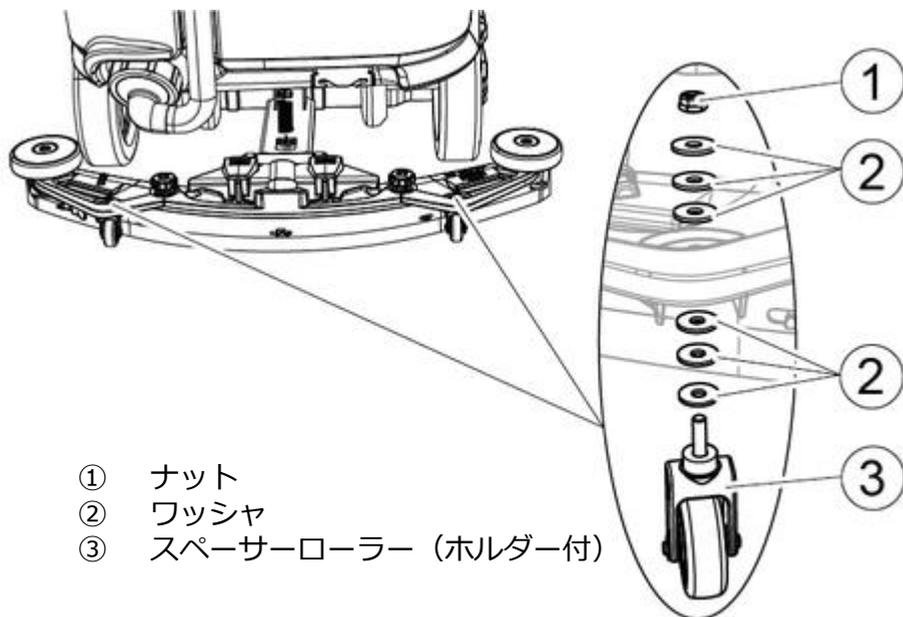


- ① ネジ
- ② ナット
- ③ 水準器

吸引バーの吸引口が、吸引バーの全長にわたって床と均等に接触するように、傾きを調整する必要があります。

1. デバイスを傾斜のない表面に駐車します。
2. プログラムスイッチを「Vacuum」の位置にします。
3. 装置を前方に少し移動させます。
4. 水準器を読み取ります。
5. ナットを緩めます。
6. 水準器が 2 本の線の間にあるようにネジを調整します。
7. ナットを締め付けます。
8. 新しい設定を確認するために、装置を少し前進させます。必要であれば、調整作業を繰り返します。
9. スイッチを「OFF」にします。35

スクイジーの調整 (高さの調整)



- ① ナット
- ② ワッシャー
- ③ スペーサーローラー (ホルダー付)

高さの調節は、床面に接触したときの吸着リップの曲げ具合に影響します。

備考

標準設定：吸引バーの上にワッシャー3枚、下にワッシャー3枚。

凹凸のある床：吸引バーの上にワッシャー5枚、下にワッシャー1枚。

非常に滑らかな床：吸引バーの上にワッシャー1枚、下にワッシャー5枚。

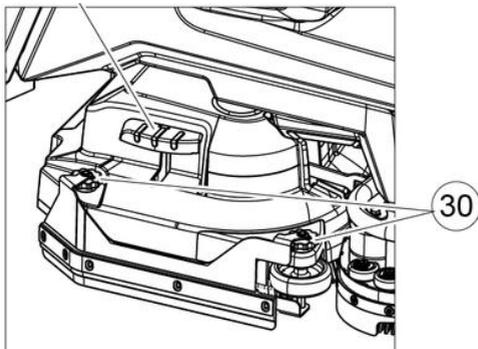
1. ナットのネジを外す
2. スクイジーとスペーサーローラーの間に必要な枚数のワッシャーを入れます。
3. 使用しない残りのワッシャーはスペーサーローラーの上部にはめ込みます。
4. ナットをねじ込み、締めます。
5. 2 個目のスペーサーローラーも同じ作業を繰り返します。

注意

両方のスペーサーローラーを同じ高さにセットします。

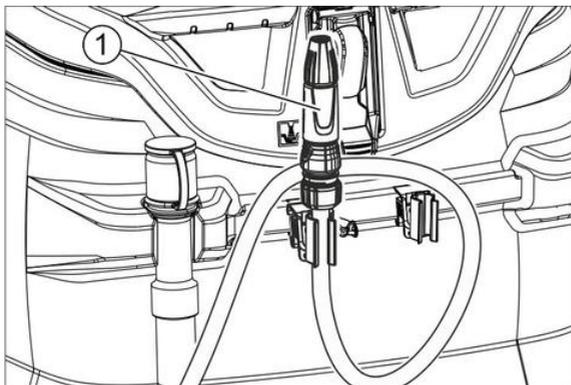
サイドリップの調整

サイドリップは、ディスククリーニングヘッドのみ調整する必要があります。サイドリップの調整は、スキーブレードが地面に接するように、調整用ダイヤル（下図の30番）を回して行います。



スプレーノズル（オプション）

本体背面にスプレーノズル付きホースが付属しています。汚れを洗い流したり、排水タンクを手動で清掃する際に使用します。



① スプレーノズル

1. スプレーノズルを回して閉じます。
2. プログラムセクタースイッチを「移動モード」に設定します。
3. 情報ボタンを押します。
4. ディスプレイに「Tank Rinsing（タンク洗浄）」が表示されるまで情報ボタンを回してください。
5. 情報ボタンを押します。
6. ON」が表示されるまでInfoボタンを回します。
7. Infoボタンを押します。
8. 水ポンプがスプレーノズルを通して新鮮な水を供給します。
9. スプレーノズルを対象物に向け、回転させて開口させます。

洗淨手順

1. シートに座ってください。
2. インテリジェントキーを挿入する。
3. 安全スイッチを「1」にセットする。
4. 走行方向スイッチを前進にセットします。
5. プログラムスイッチを希望のクリーニングプログラムに設定する。
6. アクセルペダルで速度を決定する。
7. ステアリング・ホイールで進行方向を決めます。
8. クリーニングする面の上を走行してください。

サイドスクラブブラシ（オプション）について

サイドスクラブブラシを使用することで、エッジに近い部分の洗淨作業が容易になります。

注記

ポリッシュとバキュームクリーニングのプログラムでは、サイドスクラブブラシは使用できません。

1. サイドスクラブブラシのスイッチを操作します。
サイドスクラビングデッキが有効になります。
2. サイドスクラブブラシでの作業を終了するには、サイドスクラブデッキスイッチを "0" にセットします。

仕上げ作業

洗浄終了後

1. プログラムスイッチを「ドライブ」に設定する。
2. そのまま少し移動してください。
3. 残留水が吸引されます。
4. キー操作スイッチを「OFF」にする。
5. インテリジェントキーを外します。
6. 必要に応じてバッテリーを充電してください。

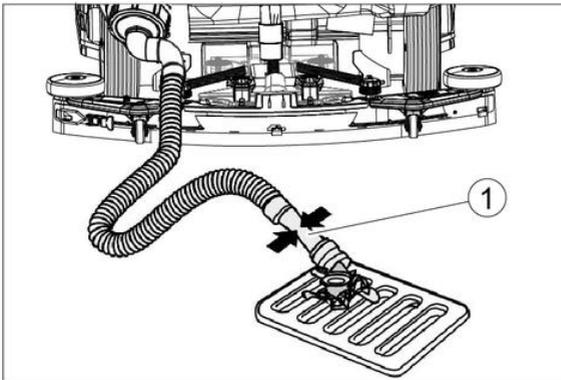
廃液の排出について

警告：排水の不適切な処理

- 環境汚染につながります。
- 条例、地域の廃水処理規制を守ってください。

注意

排水タンクが満杯になると、吸引タービンのスイッチが切れ、ディスプレイに表示されます。



① 汚水ドレンホース

1. 汚水ドレンホースを本体から外し、ドレンホースカバーを開ける。
2. ホースの先端を絞るか折り、排水設備上に下ろします。
3. ホースの先を少しずつ開放し、排水の勢いの強さを調節します。
4. 汚水タンクを透明な水ですすぎます。
5. ドレンホースカバーを閉じます。
6. 排水ホースを装置のサポートに押し込む。

仕上げ作業

汚水タンク自動洗浄装置

1. 汚水ドレンホースを本体から外し、ドレンホースカバーを開けます。
2. 汚水タンクのカバーを閉じます。
3. 汚水タンク洗浄システムの給水口に給水ホースを接続します。
4. 蛇口を開き、約 30 秒間、汚水タンクをすすぎます。
5. 必要に応じて、すすぎを 2～3 回繰り返してください。
6. 蛇口を閉じます。
7. 給水ホースを装置から外します。
8. 排水ホースを閉じて、本体に取り付けてください。

粗ゴミ容器を空にする

粗ゴミ容器は、Rクリーニングヘッドにのみ付いています。

1. 粗ゴミ容器を持ち上げて引き抜きます。
2. 粗ゴミ容器を空にします。
3. 粗ゴミ容器を再度取り付けます。

清水の排水

1. 清水タンクのキャップを開ける。
2. 清水を排出する。
3. フィルターを掃除する。
4. 清水タンクキャップを装着する。

本機をシャットダウンする

1. キーオペレーションスイッチを「OFF」にする。
2. Intelligent Key を外す。
3. 本体が転がり落ちないように固定する。
4. 必要に応じてバッテリーを充電します。

グレー色のKIKキー

グレーのKIKキーは、スーパーバイザーの権限と設定オプションの拡張を許可するものです。

1. Intelligent Keyを挿入します。
2. 情報ボタンを回転させ、必要な機能を選択します。

移動モードでの設定

1. プログラムセクタースイッチを「移動モード」に合わせます。
2. 情報ボタンを押す。

移動モードメニューでは、以下の設定ができます。

- ① メンテナンスカウンターのリセット
- ② キーの管理
- ③ ブラン形状の選択
- ④ アフターランニングの時間
- ⑤ バッテリーの種類を設定する
- ⑥ 標準設定
- ⑦ 言語設定
- ⑧ メニューの切り替え
- ⑨ 工場出荷時設定

①メンテナンスカウンターのリセット

ディスプレイに表示されているメンテナンス作業を行った場合、対応するメンテナンスカウンターをリセットする必要があります。

1. 情報ボタンを「メンテナンスカウンター」が表示されるまで回します。
2. 情報ボタンを押します。
3. カウンターの読みが表示されます。
4. クリアするカウンターが強調表示されるまで、情報ボタンを回します。
5. Infoボタンを押します。
6. 情報ボタンを回して「はい」を選択します。
7. 情報ボタンを押します。
8. カウンターがクリアされます。

注意

サービスカウンターをリセットできるのは、カスタマーサービススタッフのみです。

サービスカウンターは、カスタマーサービスが次にサービスを提供するまでの時間を表示します。

グレー色のKIKキー 移動モードでの設定 続き

②キーマネージメント

「キーマネージャー」メニューでは、使用する黄色のインテリジェントキーごとに権限を割り当て、このインテリジェントキーに対して表示言語を設定します。

1. グレーのKIKキーを挿入してください。
2. 「キーマネージャー」メニュー項目がディスプレイに表示されるまで、情報ボタンを回します。
3. インフォボタンを押します。
4. グレーのインテリジェント・キーを取り外し、パーソナライズする黄色のインテリジェント・キーを挿入します。
5. 情報ボタンを回して、変更するメニュー項目を選択します。
6. インフォボタンを押す。
7. 情報ボタンを回して、メニュー項目の設定を選択します。
8. メニュー項目を押して、設定を確定する。
9. 情報ボタンを回して、次に変更するメニュー項目を選ぶ。
10. すべての設定が終わったら、情報ボタンを押して、"Save?"メニューを呼び出す。
11. インフォボタンを押す。
 1. 認証が保存されます。
 2. Key Manager continue?"の表示が出ます。
 - Yes: 別のインテリジェント・キーをプログラムします。
 - No: キーメニューを終了します。
12. 情報ボタンを押します。

③ブラシ形状の選択

クリーニングヘッドを交換するときに必要な機能です。

1. ディスプレイに「ブラシヘッド」のメニュー項目が表示されるまで、情報ボタンを回します。
 2. インフォボタンを押す。
 3. 希望するブラシ形状がハイライトされるまで、情報ボタンを回します。
 4. 情報ボタンを押します。
 5. クリーニングヘッドを交換するには、情報ボタンを回してリフティングドライブを移動させます。
 - "up"を押します。リフティング
 - "down" (下)。下降
 - "OFF": 停止する
 6. OFF "メニュー項目が表示されるまで、情報ボタンを回す。
 7. インフォボタンを押す
- メニューが終了します。
コントローラーが再起動を行います。

グレー色のKIKキー 移動モードでの設定 続き

④アフターランタイム

1. 「After-running time」のメニュー項目が表示されるまで、インフォボタンを回す。
2. 情報ボタンを押す。
3. 希望の機能がハイライトされるまで、情報ボタンを回します。
4. 情報ボタンを押します。
5. 希望するアフターランニングタイムが表示されるまで、情報ボタンを回します。
6. Infoボタンを押します。

⑤電池の種類を設定する

ディスプレイに "Battery Menu "メニュー項目が表示されるまで、情報ボタンを回す。

1. インフォボタンを押す。
2. 希望のバッテリータイプがハイライトされるまで、情報ボタンを回す。
3. 情報ボタンを押す。

⑥標準設定

運転中に個々の洗浄プログラムで変更されたパラメータは、装置の電源を切ると標準設定にリセットされます。

1. 「Basic Settings」メニュー項目がディスプレイに表示されるまで、情報ボタンを回してください。
2. 情報ボタンを押します。
3. 希望するクリーニングプログラムがハイライトされるまで、情報ボタンを回します。
4. 情報ボタンを押します。
5. 希望するパラメータがハイライトされるまで、情報ボタンを回します。
6. 情報ボタンを押します。
7. 調整された値が点滅します。
8. Infoボタンを回して希望の値を設定します。
9. 情報ボタンを押す。

⑦言語を設定する

1. 「Language」のメニュー項目が表示されるまで、情報ボタンを回す。
2. インフォボタンを押す。
3. 希望の言語が反転表示されるまで、情報ボタンを回す。
4. 情報ボタンを押す。

グレー色のKIKキー 移動モードでの設定 続き

⑧スイッチメニュー

このメニューでは、ワークライトの有効／無効を切り替えることができます。

1. 「Switch Menu」が表示されるまでインフォボタンを回します。
2. 情報ボタンを押します。
3. 「Work Light」がハイライトされるまで、Info（情報）ボタンを回します。
4. 情報ボタンを押します。

⑨工場出荷時設定

すべてのクリーニングパラメーターを工場出荷時の設定に戻すことができます。

1. 「Factory Settings」メニュー項目が表示されるまで、情報ボタンを回す。
2. 情報ボタンを押す。
3. はい」がハイライトされるまで、情報ボタンを回します。
4. 情報ボタンを押す。

グレー色のKIKキー

クリーニングプログラムのパラメータを調整する

クリーニングプログラムのすべてのパラメータは、別の設定が選択されるまで保持されます。

1. プログラムスイッチを希望のクリーニングプログラムに設定します。
2. 情報ボタンを押します。
最初の調整可能なパラメータが表示されます。
3. 情報ボタンを押す
調整値が点滅します。
4. Infoボタンを回して、希望する値を設定します。
5. 変更した設定をInfoボタンで確定するか、10秒後に設定値が自動的に受理されるまで待ちます。
6. Infoボタンを押し、次のパラメータを選択します。
7. すべてのパラメーターを変更したら、"Quit Menu?"メニュー項目が表示されるまでInfoボタンを回します。
8. Infoボタンを押します。
メニューが終了します。

マシンの輸送

危険

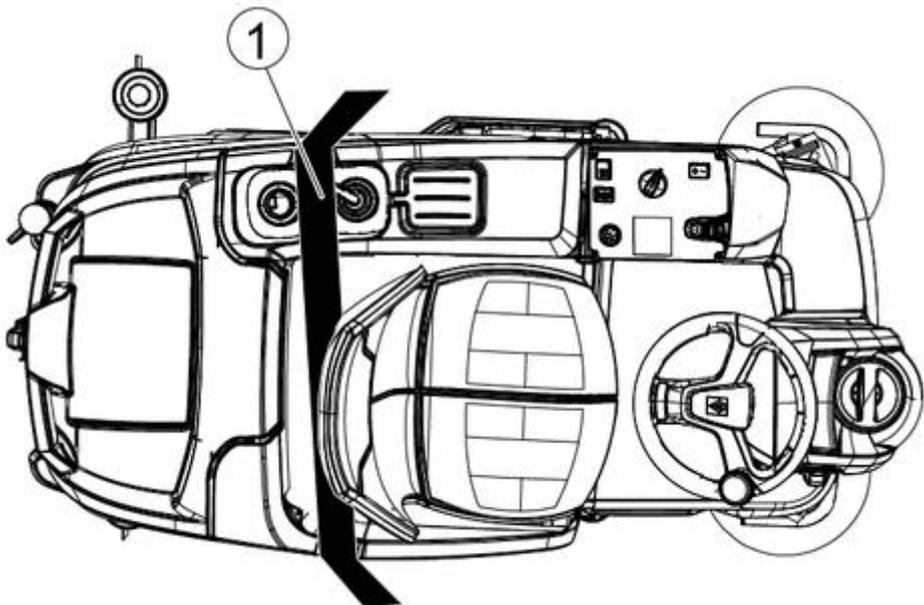
坂道での運転
怪我の危険性

- 荷物の積み下ろしのために坂道で装置を運転するときは、最大許容勾配を守ってください（「技術データ」の章を参照）。
- ゆっくりと走行してください。

注意

重量を必ず守ってください
けがや破損のおそれがあります

- 輸送中の装置の重量に注意してください。
1. Dクリーニングヘッドを取り付けた状態で、ブラシヘッドからディスクブラシを取り外してください。
 2. 車両で輸送する場合は、適用されるガイドラインに従って、装置を滑り止めや転倒防止に固定してください。



① 固定用ベルトを通す場所

保管方法

注意事項

重量を守ってください
けがや故障のおそれにつながります

保管の際は、重量にご注意ください。

注意

凍結

水の凍結による機器の破壊

- デバイスから水をすべて排出する。
 - 霜が降りない場所に機器を保管してください。
 - マシンを置くスペースを選ぶときは、マシンの安定性を損なわないように、総重量を考慮してください。
-
- このデバイスは屋内のみでの保管が可能です。
 - 長期間保管する場合は、バッテリーをフル充電してください。
 - 保管中は、少なくとも1カ月に1回はフル充電してください。

お手入れとメンテナンス

危険

不用意に機器を起動させる

けが・感電のおそれ

- プログラムスイッチを「OFF」にしてください。
- デバイスのすべての作業の前に、KIKキーを取り外してください。
- 充電器のメインプラグを抜いてください。
- バッテリーコネクタを抜いてください。

注意

けがの危険性

デバイスの電源を切った後でも、吸引タービンは作動し続けます。

- 吸引タービンの動作が停止するまで、装置で作業しないでください。

汚水と清水を処分してください。

メンテナンス間隔

使用後はその都度

注意事項

- 不適切な洗浄はしないでください
- 破損のおそれがあります。
 - 本体に水をかけないでください。
 - 強力な洗浄剤を使用しないでください。

個々のメンテナンス作業の詳細については、「メンテナンス作業」の章に記載しています。

- 廃液を排出します。
- 排水タンクをすすぎます。
- 粗い汚れフィルタを清掃します。
- タービンスクリーンを清掃します。
- Rクリーニングヘッドを使用した場合のみ。粗い汚れの容器を取り外して空にします。
- 穏やかな洗浄用灰汁で濡らした湿った布で、装置の外装を清掃します。
- 吸引リップを点検し、摩耗がないか確認し、必要であれば交換します。
- スキージブレードを清掃し、磨耗をチェックし、必要に応じて交換します。
- ブラシを清掃し、磨耗を確認し、必要に応じて交換します。
- **バッテリーを充電する。**
 - **バッテリーの充電状態が50%以下の場合は、中断することなく完全に充電してください。**
 - **常に満充電状態で保管するとバッテリーは長持ちします。**

お手入れとメンテナンス

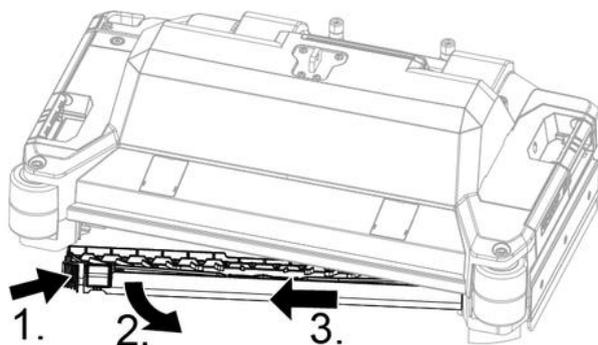
メンテナンス間隔 (続き)

週1回

定期的に使用する場合は、少なくとも週に一度、中断することなく完全に充電してください。

月間

- 機器が一時的に停止（保管）している場合。バッテリーの充電を行う。
- バッテリーの極が酸化していないか確認し、必要に応じてブラッシングしてください。接続ケーブルがしっかりと固定されていることを確認する。
- 汚水タンクとカバーの間のシールを清掃し、漏れがないことを確認し、必要に応じて交換する。
- メンテナンスフリーでないバッテリーの場合、セルの酸濃度をチェックします。
- Rクリーニングヘッドのみ。ブラシトンネルを清掃します。
- Rクリーニングヘッドを使用した場合のみ 配水ストリップをクリーニングヘッドから引き抜き、水路を清掃してください。



- 長期間使用しない場合は、バッテリーが完全に充電された時点で装置をシャットダウンします。少なくとも月に一度はフル充電してください。

年1回

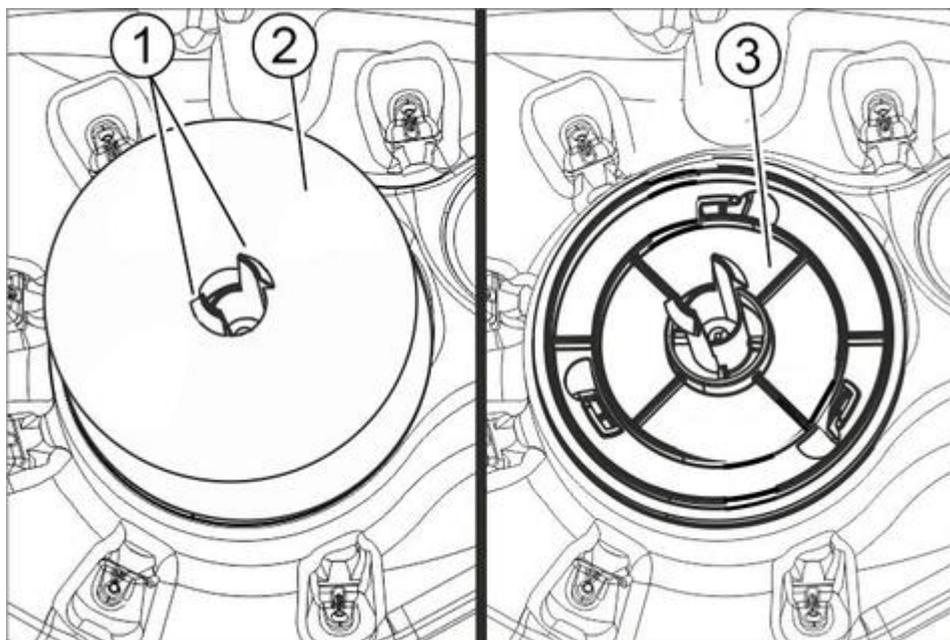
カスタマーサービスで所定の点検を受けることをお勧めします。

安全点検・メンテナンス契約

販売店との間で、定期的な安全点検の実施やメンテナンス契約を結ぶことができます。その際にご相談ください。

お手入れとメンテナンス

タービンスクリーンの清掃

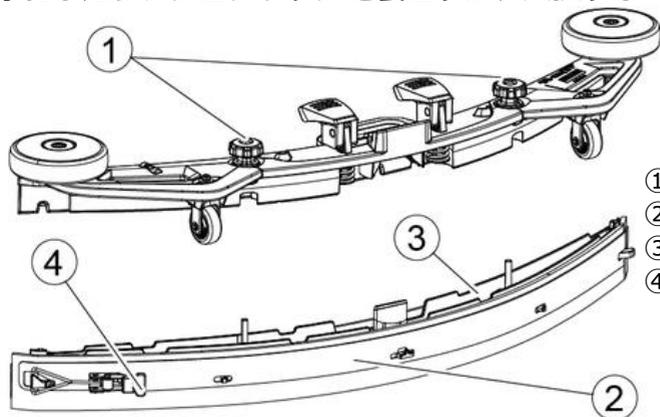


- ① ラッチフック
- ② フロート
- ③ タービンスクリーン

1. 排水タンクカバーを開ける。
2. ロックフックを押し合う。
3. フロートを引き抜きます。
4. タービンスクリーンを反時計方向に回します。
5. タービンスクリーンを取り外します。
6. タービンスクリーンを流水で洗淨します。
7. タービンスクリーンを再装着します。
8. フロートを取り付けます。

お手入れとメンテナンス

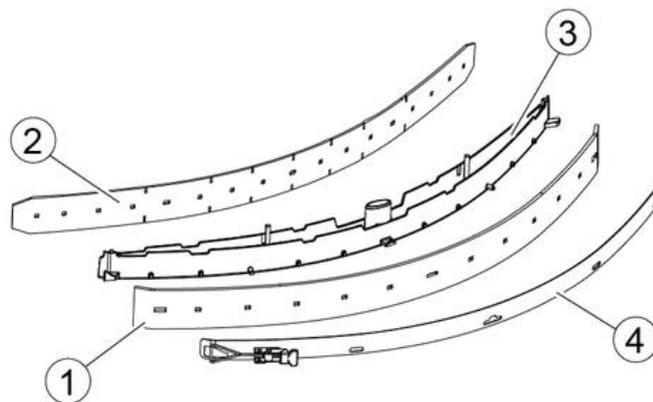
摩耗したサクシオンリップを裏返すか、交換する



- ① スターグリップ
- ② ストラップ
- ③ サクシオンバーの内側
- ④ テンションロック

1. サクシオンバーを取り外します。
2. スターハンドルのネジを外します。
3. 吸盤の内側を引き抜きます。
4. テンションロックを開ける
5. ストラップを取り外します。
6. 吸盤を内側から離します。

摩耗したサクシオンリップを裏返すか、交換する

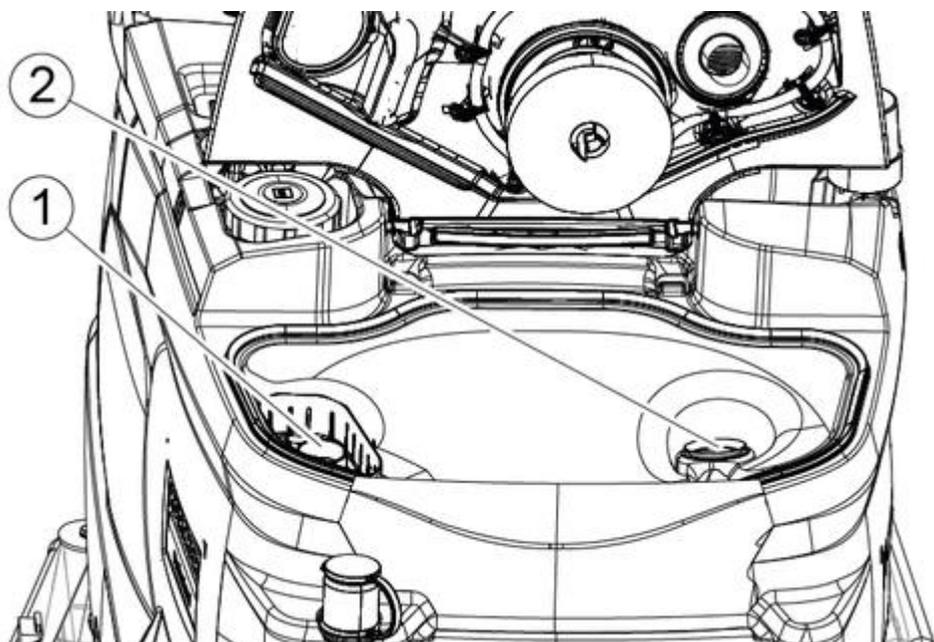


- ① スクイジーゴム 外側
- ② スクイジーゴム 内側
- ③ スクイジーインナー
- ④ ストラップ

1. 回転したスクイジーゴムや新しいスクイジーゴムの、スクイジーインナーのツマミに押し付けます。
2. ストラップを取り付けます。
3. スクイジーインナーをスクイジーの上部に押し込んで合体させます。
4. スターハンドルをねじ込み、締め付けます。

お手入れとメンテナンス

粗ゴミかごの清掃

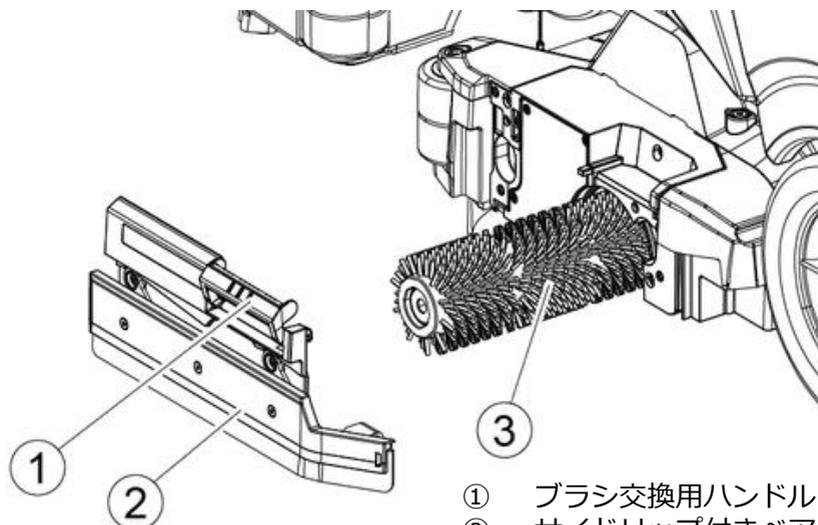


- ① 粗ゴミかご
- ② タービン保護フィルター

1. 汚水タンクカバーを開ける。
2. 粗ゴミかごを上引き上げて外す。
3. 粗ゴミかごを流水で洗い流します。
4. 粗ゴミかごを排水タンクに入れ直す。

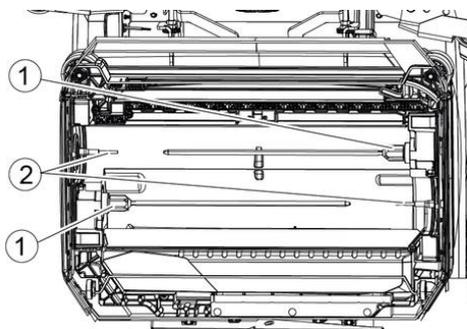
お手入れとメンテナンス

ローラーブラシの交換方法



- ① ブラシ交換用ハンドル
- ② サイドリップ付きベアリングカバー
- ③ ローラーブラシ

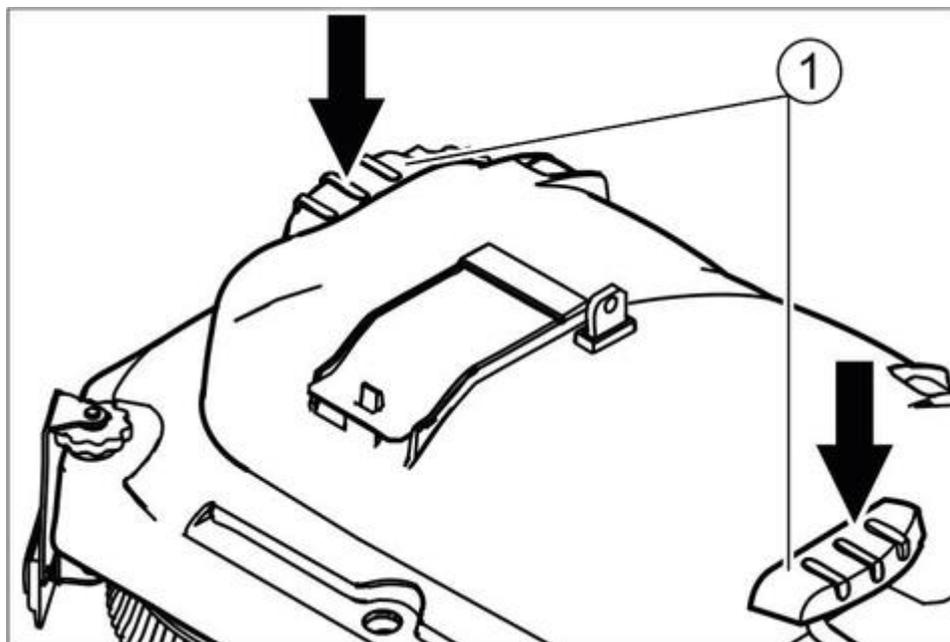
1. クリーニングヘッドを上げます。
2. ブラシ交換用ハンドルを引き下げます。
3. サイドリップ付きベアリングカバーを取り外します。
4. ローラーブラシを引き抜きます。
5. 新しいローラーブラシを駆動軸を通すようにして装着します。
6. サイドリップ付きベアリングカバーを取り付けます。
7. ブラシ交換用ハンドルを上げる方向に回転させ、はめ込みます。
8. 反対側でも同じ手順を繰り返します。



- ブラシヘッドを裏側から見た状態
- ① ブラシ駆動軸
 - ② 駆動軸ベアリングカバー側

お手入れとメンテナンス

ディスクブラシの交換方法

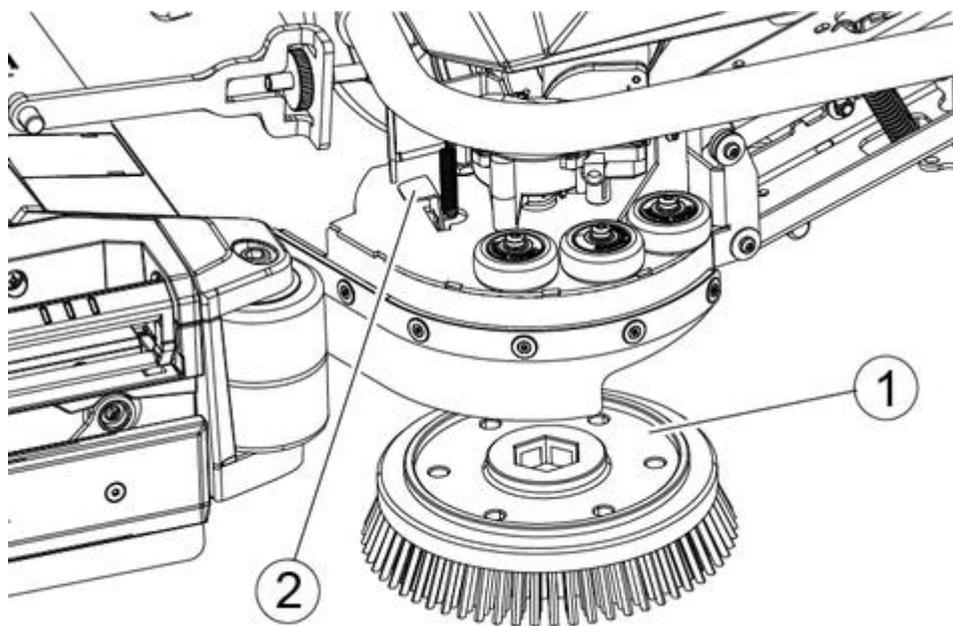


① ブラシ交換用ペダル

1. **ブラシ**ヘッドを上げます。
2. ブラシ交換ペダルを押し下げます。
3. 1枚目のディスクブラシを横方向に引き、**ブラシ**ヘッドの下から出します。
4. 新しいディスクブラシを**ブラシ**ヘッドの下で保持し、上方に押しして所定の位置にはめ込みます。
5. 2枚目のディスクブラシも同じ手順で交換します。

お手入れとメンテナンス

サイドスクラブブラシの交換方法（オプション装着の場合）

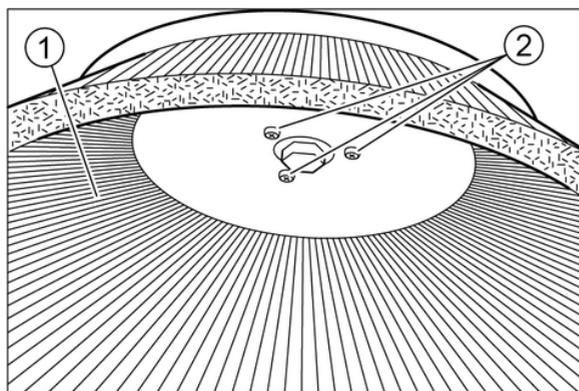


- ① サイドスクラブブラシ
- ② ブラシ交換レバー

1. ブラシ交換レバーを下方に押す。
2. ブラシがサポートから落ちます。
3. 新しいブラシをサイドスクラビングデッキの下で保持し、上方に押して所定の位置にはめ込みます。

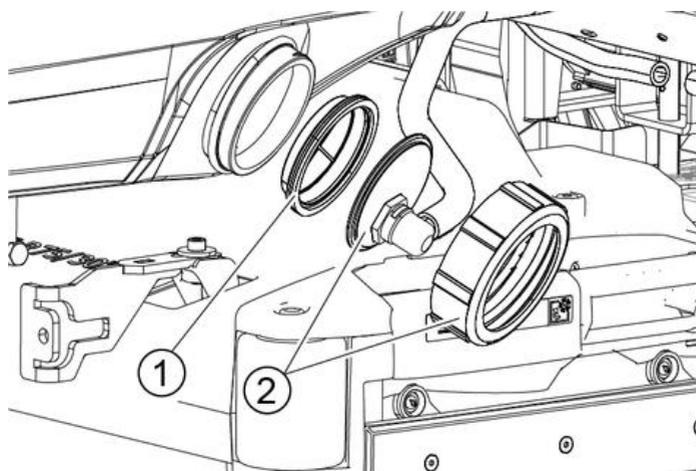
お手入れとメンテナンス

サイドブラシ（スイープブラシ）を交換する（オプション装着の場合）



1. ネジ 3 個を外します。
2. サイドブラシを取り外します。
3. 新しいサイドブラシをスライドさせて装着します。
4. ねじ込み、3 本のねじを締めます。

清水フィルターの清掃



- ① 清水フィルター
- ② 清水タンクロック

1. 清水を排出します（「清水の排出」の章を参照）。
2. 清水タンクロックのネジを外す。
3. 清水フィルターを引き抜き、きれいな水ですすぎます。
4. 清水フィルターを挿入する。
5. 清水タンクロックを装着する。
6. 注：キャップをねじ込んで固定した後、清水タンクロックのホース接続部がタンク内で最も低い位置にあることを確認してください。

トラブルシューティング・ガイド

危険

装置が不用意に動き出す可能性について
作業者がけがをする可能性があります

- デバイスのすべての作業を行う前に、Intelligent Key を取り外してください。
- 作業を行う前に、内蔵充電器のメインプラグをコンセントから抜いてください。
- 作業を行う前に、バッテリーのコネクタを外してください。
 1. 汚水を排出する。
 2. 残った真水を抜いてください。

注意

以下の手順で故障が改善されない場合は、カスタマーサービスにご連絡ください。

ディスプレイに表示される情報の誤動作について

ディスプレイに故障が表示された場合は、次のように操作してください。

故障が数字で表示される場合

- 故障が数字で表示された場合、まず故障（装置）をリセットします。
 - A) プログラムスイッチを「OFF」に設定します。
 - B) ディスプレイの数字コードが消えるまで待ちます。
 - C) プログラムスイッチを前のプログラムに設定します。
 - D) 再びエラーが発生した場合のみ、指定された順序で適切な改善策を実行します。キー操作スイッチを「0」にし、非常停止ボタンを押すこと。
 - E) エラーが改善されない場合は、カスタマーサービスに連絡し、エラーメッセージを伝えてください。
- 文字で表示されるエラー
 - A) ディスプレイの指示に従います。
 - B) 情報ボタンを押し、故障を確認します。

注意

以下の表に記載されていないエラーメッセージは、オペレータが修正できないエラーであることを示しています。この場合、カスタマーサービスにご連絡ください。

ディスプレイに情報が表示されない誤動作

- ① 装置が起動しない
- ② 水量が不足している
- ③ 吸引力が弱すぎる
- ④ 洗浄結果に不満がある
- ⑤ ブラシが回転しない
- ⑥ ブレーキがかからない
- ⑦ 排水ホースが詰まった
- ⑧ 洗剤注入ユニット "Dose" が作動しない

①装置が起動しない

対処法

1. 運転席に座る。
2. セーフティスイッチを入れる前に、アクセルから足を離す。
3. セーフティスイッチを「1」にする。
4. バッテリーを点検し、必要なら充電してください。
5. プログラムスイッチを「OFF」にする。
6. 10 秒間待ちます。
7. プログラムスイッチを希望のプログラムに設定する。
8. 可能であれば、平坦な場所でのみ装置を運転してください。
9. 必要に応じてパーキングブレーキを点検してください。

②水量が不足している

対処方法

1. 真水の注入量を確認し、必要であれば空気を押し出すように完全に水を注入してください。
2. 清水フィルターを取り外して清掃する。
3. フィルターを挿入し、キャップをねじ込みます。
4. Rクリーニングヘッドのみを使用します。クリーニングヘッドにある配水板を引き抜きます。
5. Rクリーニングヘッドを使用した場合のみ 水路を清掃してください。
6. ホースに詰まりがないか確認し、必要に応じて清掃してください。

ディスプレイに情報が表示されない誤動作

③吸引力が弱すぎる

1. 汚水タンクとカバーの間のシールを清掃し、漏れがないことを確認し、必要に応じて交換する。
2. タービン保護フィルターに汚れがないか確認し、必要であれば清掃してください。
3. スクイジーのスクイジーゴム部などを清掃し、必要に応じて裏返したり交換したりします。
4. 汚水ドレンホースの蓋を閉める。
5. 汚水タンク自動洗浄装置の蓋を閉めます。
6. 吸引ホースに詰まりがないか確認し、必要に応じて清掃してください。
7. 吸引ホースに漏れ、破れがないか確認し、必要に応じて交換してください。
8. スクイジーの調整を確認する。

④洗浄結果に不満がある

1. 洗浄作業に適した洗浄プログラムを設定してください。
2. クリーニング作業に適したブラシを使用してください。
3. 洗浄作業に適した洗剤を使用してください。
4. マシンの走行速度を遅くしてください。
5. 接触圧（面圧）を調整する。
6. サイドリップ、スクイジーを調整します。
7. ブラシの磨耗をチェックし、必要に応じて交換します。
8. 水量、吐水量をチェックする。

⑤ブラシが回転しない

1. 接触圧（面圧）を下げる。
2. ブラシに異物が詰まっていないか確認し異物を取り除く。
3. モータに過負荷がかかっている場合は、モータを冷却してください。
4. プログラムスイッチを「OFF」にする。
5. 10 秒間待つ。
6. プログラムスイッチを希望のプログラムにしてください。
7. ブラシヘッドのプラグがしっかりと差し込まれていることを確認します。

ディスプレイに情報が表示されない誤動作

⑥ブレーキが利かない

1. ブレーキ無効化を解除する（「組み立て/開梱/パレットからマシンを降ろす」を参照）。

⑦排水ホースが詰まった

1. ドレンホースのところにあるドージングユニットカバーを開けてください。
2. サクションホースをサクションバーから引き抜き、手で閉じます。
3. プログラムスイッチを「バキューム」に設定します。
4. 詰まりは、ドレンホースから排水タンクに吸い出されます。

⑧DOSE機能が動作しない

1. カスタマーサービスにお電話ください。

保証について

保証期間内であれば、無償で修理いたします。
ただし、保証期間内であっても、または製造上の欠陥に起因する故障の場合は、無償で修理いたします。保証期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店（レシートをお持ちください）。

テクニカルデータ R85モデル

全般的	
最大移動速度 (Advモデルの場合)	6 (10) km/h
理論上の洗浄面積 (Advモデルの場合)	5100 (8500) m ² /h
サイドスクラブブラシを入れた 理論上の洗浄面積	5700 (9500) m ² /h
実用的な表面性能	3600 (6000) m ² /h
清水/汚水タンクの容量	150L
粗ゴミ容器の容量	9L
洗剤タンクの容量 (DOSE機能)	5L
洗剤の投与	0~3%
水の投与量	0~7 l / min
単位面積あたりの負荷 (ドライバーと満水の清水タンクを含む)	
前輪の表面圧力B150	0,94 N / mm ²
後輪の表面圧力B150	0,51 N / mm ²
単位面積あたりの荷重 (重量/駐車面積) (Adv)	599 (612) / 567 (-) kg / m ²
前輪表面圧力B150 低接地圧モデル (オプション)	0,172 N / mm ²
後輪の表面圧力B150左/右 低接地圧モデル (オプション)	0,221 / 0,228 N / mm ²
寸法	
長さB150	1690mm
サクシオンバーなしの幅B150	910mm
高さ	1390 mm
ヘッドガード付きの高さ (オプション)	2060 mm
洗浄幅	850mm
サイドスクラブデッキでの作業幅	950 mm
サイドスイープブラシでの作業幅	1080 mm
梱包寸法lxwxhB150	1870x1120x1700 mm

テクニカルデータ R85モデル

タイヤ	
前輪、幅（低接地圧オプション）	90 (235) mm
前輪、直径（低接地圧オプション）	265 (290) mm
後輪、幅（低接地圧オプション）	75 (125) mm
後輪、直径（低接地圧オプション）	350 (350) mm
重さ	
許容総重量B150	957kg
正味重量（輸送重量）B 150	727kg
ブラシ接触力、最大	844N (kg)
ブラシ接触圧力、最大	26400 (270) N / m ² (g / cm ²)
デバイスパフォーマンスデータ	
公称電圧	36 V
バッテリー容量	240Ah/5h
平均電力入力 (Adv)	2600 (3500) W
サイドスクラビングデッキでの平均消費電力 (Adv)	2700 (3600) W
駆動モーターパワー (Adv)	600 (1400) W
サクシオンタービンパワー	750 W
ブラシ駆動力	2 x 750 W
耐水規格	IPX3
吸引能力	
吸引性能、風量	27,3 l / s
真空度（最大）	21,1 (211) kPa (mbar)
クリーニングブラシ	
ブラシ径	105mm
ブラシの長さ	800mm
ブラシ速度	1200rpm
サイドスクラブデッキブラシ径	220mm
サイドスクラブデッキブラシ速度	62110rpm

テクニカルデータ R85モデル

内部充電器	
公称電圧	230 V
周波数	50~60 Hz
消費電流	8 A
周囲条件	
許容温度範囲	5~40°C
最大水温	50°C
充填システムの水圧 (オプション)	1 (10) MPa (bar)
廃水タンクフラッシングシステム水圧 (オプション)	1 (10) MPa (bar)
相対湿度	20~90%
傾斜	
最大登坂能力 (Advモデル、オプション)	10 (15) %
accで決定された値。EN60335-2-72を使用	
手腕の振動値	$<2,5 \text{ m/s}^2$
シート振動値	$<2,5 \text{ m/s}^2$
不確かさK	0.1 dB (A)
サウンドレベル L_{pA} 通常動作	67 dB (A)
不確かさ K_{pA}	2 dB (A)
音響パワーレベル L_{WA} + 不確かさ K_{WA} 通常の動作	85 dB (A)
サイドスクラブブラシ	
パワー	140 W
ブラシ接触力 (面圧)、最大。	88N (9kg)
ブラシ接触圧力、最大。	2943 N/m^2 (30g/cm ²)

テクニカルデータ D90モデル

全般的	
最大移動速度 (Advモデルの場合)	6 (10) km/h
理論上の洗浄面積 (Advモデルの場合)	5400 (9000) m ² /h
サイドスクラブブラシを入れた 理論上の洗浄面積	6000 (10000) m ² /h
実用的な表面性能	3800 (6300) m ² /h
清水/汚水タンクの容量	150L
粗ゴミ容器の容量	なし
洗剤タンクの容量 (DOSE機能)	5L
洗剤の投与	0~3%
水の投与量	0~7 l / min
単位面積あたりの負荷 (ドライバーと満水の清水タンクを含む)	
前輪の表面圧力	0,94 N / mm ²
後輪の表面圧力	0,51 N / mm ²
単位面積あたりの荷重 (重量/駐車面積) (Adv)	599 (612) / 567 (-) kg / m ²
前輪表面圧力 低接地圧モデル (オプション)	0,172 N / mm ²
後輪の表面圧力B150左/右 低接地圧モデル (オプション)	0,221 / 0,228 N / mm ²
寸法	
長さ	1690mm
サクシオンバーなしの幅B150	980mm
高さ	1390 mm
ヘッドガード付きの高さ (オプション)	2060 mm
洗浄幅	900mm
サイドスクラブデッキでの作業幅	1000 mm
サイドスイープブラシでの作業幅	1080 mm
梱包寸法lxwxhB150	1870x1120x1700mm

テクニカルデータ D90モデル

タイヤ	
前輪、幅（低接地圧オプション）	90 (235) mm
前輪、直径（低接地圧オプション）	265 (290) mm
後輪、幅（低接地圧オプション）	75 (125) mm
後輪、直径（低接地圧オプション）	350 (350) mm
重さ	
許容総重量	957kg
正味重量（輸送重量）	727kg
ブラシ接触力、最大	778N (79kg)
ブラシ接触圧力、最大	2800 N/m ² (30g / cm ²)
デバイスパフォーマンスデータ	
公称電圧	36 V
バッテリー容量	240Ah/5h
平均電力入力（Adv）	2600 (3500) W
サイドスクラブブラシの平均消費電力（Adv）	2700 (3600) W
駆動モーターパワー（Adv）	600 (1400) W
サクシオンタービンパワー	750 W
ブラシ駆動力	2 x 600 W
耐水規格	IPX3
吸引能力	
吸引性能、風量	27,3 l / s
真空度（最大）	21,1 (211) kPa (mbar)
クリーニングブラシ	
ブラシ径	450mm
ブラシの長さ	—mm
ブラシ速度	210rpm
サイドスクラブデッキブラシ径	220mm
サイドスクラブデッキブラシ速度	65 210rpm

テクニカルデータ D90モデル

内部充電器	
公称電圧	230 V
周波数	50~60 Hz
消費電流	8 A
周囲条件	
許容温度範囲	5~40°C
最大水温	50°C
充填システムの水圧 (オプション)	1 (10) MPa (bar)
廃水タンクフラッシングシステム水圧 (オプション)	1 (10) MPa (bar)
相対湿度	20~90%
傾斜	
最大登坂能力 (Advモデル、オプション)	10 (15) %
accで決定された値。EN60335-2-72を使用	
手腕の振動値	$<2,5 \text{ m/s}^2$
シート振動値	$<2,5 \text{ m/s}^2$
不確かさK	0.1 dB (A)
サウンドレベル L_{pA} 通常動作	67 dB (A)
不確かさ K_{pA}	2 dB (A)
音響パワーレベル L_{WA} +不確かさ K_{WA} 通常の動作	85 dB (A)
サイドスクラブブラシ	
パワー	140 W
ブラシ接触力 (面圧)、最大。	88N (9kg)
ブラシ接触圧力、最大。	2943 N/m^2 (30 g/cm^2)

EU 適合宣言

当社は、以下に記載する機械が、その基本設計および構造、ならびに当社が流通させるバージョンの両方において、EU指令の関連する基本的安全性および健康要件に適合していることをここに宣言します。この宣言は、弊社が承認していない機械に対する変更によって無効となります。

製品 床掃除用ライドオンマシン

タイプ 1.246-xxx

現在適用されている EU 指令
2006/42/ec (+2009/127/ec)

2014/30/EU

2014/53/eu (TCU)

使用される整合規格
EN 60335-1



H. Jenner

Chairman of the Board of Management



S. Reiser

Director Regulatory Affairs & Certification



THANK YOU!
MERCI! DANKE! ¡GRACIAS!

▶ 延長保証について

品質に自信があるからこそその長期保証。
お客様が安心してお使い頂けるためのアフター
サービスを提供しています。
ユーザー登録をしていただくと製品(アクセサリ、
パーツ、洗浄剤を除きます)の保証期間が2年に
延長されます。



※ご購入後 30 日以内に、当社ホームページから
ユーザー登録が必要です。
期間を過ぎてからの登録は対象外とさせて
いただきます。

製品の登録はこちらから



https://www.kaercher.com/jp/service/support_pro/registry.html

▶ 製品のご用命、仕様に関するお問い合わせ

業務用製品コールセンター
Tel:045-777-7410 FAX:045-777-7411
受付時間 :9:00 ~ 17:00 月曜~金曜日(祝日、当社休日を除く)

▶ 製品の故障、修理、技術に関するお問い合わせ

サービスフロント
お電話の際は事前に下記項目をご確認の上ご連絡ください。
①機種名 ②故障状況 ③保証書
TEL:0570-78-3140(ナビダイヤル)
受付時間 :9:00 ~ 17:00 月曜~金曜日(祝日、当社休日を除く)

ホームページからのお申し込み受付
<https://forms.gle/RzbPVHMDGowcGx598>



一般修理依頼フォーム(診断・見積)